平成２１年度

行　政　監　査　報　告　書

－　テーマ　－

高額設備等の活用状況について

大分県監査委員

目　　次

第１　監査のテーマ及び目的

１　監査のテーマ ･･･ １
２　監査の目的 ･･･ １

第２　監査の実施概要

１　監査の着眼点 ･･･ １
２　監査対象機関及び監査対象設備等 ･･･ ２
３　監査の実施時期及び実施方法 ･･･ ３

第３　監査対象設備等の概要

１　監査対象設備等の状況 ･･･ ４
（１）機械器具等 ･･･ ４
（２）美術工芸品 ･･･ ９
（３）動物 ･･･ １１
２　設備等の管理事務の概要 ･･･ １２
（１）物品管理事務の概要 ･･･ １３
（２）平成19年度包括外部監査の結果及び総合意見の概要 ･･･ １８
（３）物品調達・備品管理システム導入の検討 ･･･ １８

第４　監査の結果及び意見

１　機械器具等 ･･･ １９
（１）機器等の整備計画 ･･･ １９
（２）購入と賃借（リース）との比較検討 ･･･ １９
（３）機種選定時の検討 ･･･ ２０
（４）機器等の管理 ･･･ ２０
（５）機器等の有効活用 ･･･ ２４
（６）機器等導入による成果の評価 ･･･ ３０
２　美術工芸品 ･･･ ３１
（１）美術工芸品の管理 ･･･ ３１
（２）美術工芸品の有効活用 ･･･ ３１
（３）美術工芸品の収集保管 ･･･ ３４
３　動物 ･･･ ３４
（１）動物の管理及び利用 ･･･ ３４
（２）動物の処分 ･･･ ３５
（３）動物飼養の成果の評価等 ･･･ ３５

むすび ・・・

第１　監査のテーマ及び目的

１　監査のテーマ

平成21年度の行政監査は、「高額設備等の活用状況について」をテーマとした。

２　監査の目的

県が取得し、保有する財産は、適切かつ有効に活用され、その取得目的に応じた効果が発揮されなければならない。厳しい財政状況のもと、高額な試験研究機器や美術工芸品などは、特にその効果の発現が求められる。

このため、これら高額な設備等が有効に活用されているかなどについて監査し、県の行財政改革の推進に資するものとする。

第２　監査の実施概要

１　監査の着眼点

監査に当たっては、主に次の着眼点に基づき実施した。

(1) 機械器具等

① 機器等の導入に当たって、経済性等の観点から購入と賃借の比較検討がなされているか。
② 機種の選定に当たって、利用予定日数や維持管理経費などが事前に十分検討されているか。
③ 法定点検、自主点検などの保守管理は、適正、効率的かつ経済的に行われているか。
④ 機器は有効に利用されているか。
⑤ 県の他の機関、団体等の利用に供するなど有効活用が図られているか。
⑥ 機器の導入による成果が具体的に評価されているか。

(2) 美術工芸品

① 美術工芸品の管理、修繕等は、適切かつ計画的に行われているか。
② 美術工芸品は、その保有目的に沿って十分に活用されているか。
③ 県の他の機関、団体等と連携した活用の取組が行われているか。

(3) 動物

① 動物の飼養の目的及び計画が定められているか。
② 動物の飼養管理は、適切かつ経済的に行われているか。
③ 動物の売払い等の処分は、適切に行われているか。
④ 動物の飼養の成果が評価されているか。

２　監査対象機関及び監査対象設備等

監査対象機関は、次に掲げる設備等の管理事務を行う本庁等の課所及び「かい(注)」の中から、数量、取得価格、用途等を考慮して選定した49機関とし、監査対象とする設備等は、平成20年度末において当該機関が管理する当該設備等とした（[表－１]）。なお、監査対象機関及び監査対象設備等（動物を除く。）の一覧は、巻末の参考資料のとおりである。

① 機械器具等（価格500万円以上又は年間賃借料100万円以上の船舶、車両及び運搬具、機械器具等）

② 美術工芸品（価格500万円以上のもの）

③ 動物（大分県会計規則(昭和49年大分県規則第10号。以下「規則」という。）に定めるもの）

（注） 「かい」とは、県の予算を執行する本庁等以外の事務所、事業所、警察署及び学校等であって、規則別表第一及び別表第二に掲げるものをいう。

［表－１］監査対象機関数及び監査対象設備等数

（単位：機関、箇所、点、頭・羽）

部局		監査対象機関数	監査箇所数	監査対象設備等数				
				機械器具等			美術工芸品	動物
					うち県有	うち借用		
知事部局		26	33	389	383	6	2	5,780
内訳	総務部	－	－	－	－	－	－	－
	企画振興部	－	－	－	－	－	－	－
	福祉保健部	4	4	15	15	0	0	0
	生活環境部	5	5	46	44	2	0	0
	商工労働部	6	6	224	224	0	1	0
	農林水産部	9	16	97	93	4	0	5,780
	土木建築部	1	1	2	2	0	0	0
	会計管理局	1	1	5	5	0	1	0
企業局		1	1	296	296	0	0	0
病院局		2	2	209	205	4	2	0
教育委員会		17	19	183	180	3	301	65
警察本部		3	3	12	5	7	0	0
合計		49	58	1,089	1,069	20	305	5,845

（注） 監査箇所数は、監査対象機関の分場･分校等を単位とした数である。

３　監査の実施時期及び実施方法

(1) 実施時期

監査は、平成21年９月から同年12月までの間に実施した。

(2) 実施方法

監査対象機関に監査調書の提出を求め、当該調書を基に監査事務局職員が予備監査を行い、その結果を踏まえて監査委員が必要と認めた監査対象機関に対して委員監査を実施した。

(3) 関係人調査

県から監査対象設備等の貸付けを受けている団体のうち次に掲げる６団体について、地方自治法(昭和22年法律第67号)第199条第８項の規定に基づく関係人調査を行った。

大分市医師会立アルメイダ病院、社団法人別府湾をきれいにする会、谷中村集落営農組合、財団法人大分県建設技術センター、大分県馬術連盟、大分県体操協会

第３　監査対象設備等の概要

１　監査対象設備等の状況

監査対象設備等の平成20年度末における状況は、次のとおりである。

(1) 機械器具等

ア　分類・取得価格別内訳

監査対象機械器具等のうち県有のもの（以下「県有機械器具等」という。）の分類及び取得価格別の内訳は、［表－２］のとおりである。

［表－２］県有機械器具等の分類･取得価格別内訳

（単位：点、千円）

分類		取得価格別点数					取得価格
大分類	小分類	500万円以上1000万円未満	1000万円以上2000万円未満	2000万円以上5000万円未満	5000万円以上	計	又は評価額
船舶	動力船	1			2	3	258,032
	無動力船	3				3	15,885
車両及び運搬具	庁用自動車等	15	2	1	4	22	381,703
	運搬具	1				1	5,948
機械器具	産業用機器	115	54	19	1	189	2,111,080
	医療衛生用機器	8	1			9	73,199
	精密機器･計測機器	133	70	18	5	226	2,833,416
	電気･電子機器	46	34	9	6	95	1,618,992
	教養･体育用機器	13	5			18	166,493
事務・生活用品	生活用品	2				2	14,038
小　　計		337	166	47	18	568	7,478,786
企業会計の固定資産		244	110	64	83	501	17,653,744
合　　計		581	276	111	101	1,069	25,132,530

（注）　企業会計の固定資産の取得価格等は、消費税等相当額を含まない額である。

イ　分類・取得年度別内訳

県有機械器具等の分類及び取得年度別の内訳は、［表－３］のとおりである。

［表－３］県有機械器具等の分類･取得年度別内訳

（単位：点）

分類		取得年度別点数									計
大分類	小分類	～S58	S59～S63	H1～H5	H6～H10	H11～H15	H16～H17	H18	H19	H20	
船舶	動力船			3							3
	無動力船		3								3
車両及び運搬具	庁用自動車等		1	3	9	5	1	1		2	22
	運搬具				1						1
機械器具	産業用機器	7	17	42	76	33	6	4	2	2	189
	医療衛生用機器			2	3	2	1	1			9
	精密機器･計測機器	14	18	40	89	37	10	7	4	7	226
	電気･電子機器	1		9	20	32	13	9	5	6	95
	教養･体育用機器	1		4	2	4	1		6		18
事務・生活用品	生活用品				1	1					2
小　　計		23	39	103	201	114	32	22	17	17	568
企業会計の固定資産		40	14	142	128	66	52	20	19	20	501
合　　計		63	53	245	329	180	84	42	36	37	1,069

ウ　管理箇所・取得価格（賃借料額）別内訳

県有機械器具等の管理箇所及び取得価格別の内訳は［表－４］のとおりであり、借用している監査対象機械器具等の管理箇所及び年間賃借料額別の内訳は［表－５］のとおりである。

［表－４］県有機械器具等の管理箇所･取得価格別内訳

（単位：点、千円）

管理箇所	取得価格別点数					取得価格又は評価額
	500万円以上1000万円未満	1000万円以上2000万円未満	2000万円以上5000万円未満	5000万円以上	計	
医務課	2	2		1	5	111,805
健康対策課		1	1	3	5	207,013
東部保健所	2			1	3	70,735
中部保健所	2				2	14,793
廃棄物対策課				1	1	94,760
防災危機管理課	3	5	2		10	158,670
衛生環境研究センター	15	10	3	1	29	396,147

管理箇所	取得価格別点数					取得価格又は評価額
	500万円以上1000万円未満	1000万円以上2000万円未満	2000万円以上5000万円未満	5000万円以上	計	
消費生活・男女共同参画プラザ	2				2	17,750
食肉衛生検査所	2				2	14,532
雇用・人材育成課	1				1	6,247
産業科学技術センター	66	41	18	4	129	1,793,575
工科短期大学校	35	14	8	1	58	681,035
大分高等技術専門校	14	9	1		24	231,674
佐伯高等技術専門校	7	1	1		9	79,119
竹工芸・訓練支援センター	2	1			3	25,476
農林水産研究センター						
豊後大野管理部	3	3			6	63,777
野菜・茶業研究所	1	2			3	27,349
きのこ研究所	5	1	1		7	71,423
宇佐管理部	2				2	11,400
安全農業研究所	3		1		4	54,812
水田農業研究所	8	2			10	81,123
果樹研究所	4	1			5	40,790
花き研究所	1				1	7,980
畜産試験場	11	1			12	85,308
畜産試験場中小家畜・環境担当	1				1	5,667
林業試験場	5	8			13	149,876
林業試験場産業工芸試験所	3	3			6	61,856
水産試験場	8	3			11	90,305
水産試験場内水面研究所	1				1	7,400
農業大学校	5	1			6	45,865
大分家畜保健衛生所	4	1			5	39,619
土木建築企画課	1		1		2	28,189
用度管財課	4	1			5	41,260
体育保健課	3	2			5	53,469
教育センター	2		3	1	6	252,165
芸術会館	2	1		1	4	86,000
総合体育館	4	2			6	50,518
歴史博物館	1		2	1	4	219,135

管理箇所	取得価格別点数					取得価格又は評価額
	500万円以上1000万円未満	1000万円以上2000万円未満	2000万円以上5000万円未満	5000万円以上	計	
社会教育総合センター香々地青少年の家				1	1	195,700
九重青少年の家		1		1	2	101,994
国東高等学校	8	2			10	95,317
山香農業高等学校	1				1	9,242
大分工業高等学校	13	10			23	216,508
鶴崎工業高等学校	15	5			20	166,433
海洋科学高等学校	14	5	1	1	21	346,415
佐伯鶴岡高等学校	5	5	1		11	134,468
三重総合高等学校	2	2			4	45,164
久住校	1				1	9,241
玖珠農業高等学校	4	2			6	60,132
日田林工高等学校	19	4	1		24	224,378
中津工業高等学校	9	9			18	187,849
宇佐産業科学高等学校	7	4	2		13	167,762
科学捜査研究所	－	－	－	－	0	0
交通指導課	1	1			2	20,739
大分中央警察署	3				3	18,828
小　　計	337	166	47	18	568	7,478,786
企業局総務課	108	64	50	74	296	14,647,671
県立病院	110	44	13	6	173	2,353,223
三重病院	26	2	1	3	32	652,850
企業会計の固定資産計	244	110	64	83	501	17,653,744
58箇所合計	581	276	111	101	1,069	25,132,530

（注）1　千円未満を四捨五入しているため、各管理箇所の取得価格等の合計の額と「小計」の額とは、一致しない。

2　企業局総務課、県立病院及び三重病院の取得価格等は、消費税等相当額を含まない額である。

［表－５］借用している監査対象機械器具等の管理箇所･賃借料額別内訳

（単位：点、千円）

管理箇所	年間賃借料額別点数					年間賃借料額
	100万円以上200万円未満	200万円以上400万円未満	400万円以上1000万円未満	1000万円以上	計	
防災危機管理課	1		1		2	6,439
農林水産研究センター安全農業研究所		2			2	4,007
水田農業研究所			1		1	5,063
畜産試験場	1				1	1,911

管理箇所	年間賃借料額別点数					年間賃借料額
	100万円以上200万円未満	200万円以上400万円未満	400万円以上1000万円未満	1000万円以上	計	
教育センター	1			2	3	44,416
科学捜査研究所	1	3	2		6	21,004
交通指導課				1	1	14,270
県立病院			1	2	3	61,895
三重病院				1	1	16,174
９箇所合計	4	5	5	6	20	175,179

エ　平成18～20年度に取得した県有機械器具等の管理箇所・取得年度別内訳

平成18年度から同20年度までの間に取得した県有機械器具等の管理箇所及び取得年度別内訳は、［表－６］のとおりである。

［表－６］県有機械器具等の管理箇所・取得年度別内訳

（単位：点、千円）

管理箇所	取得年度別点数				取得価格又は評価額
	H18	H19	H20	計	
健康対策課	1		1	2	68,744
衛生環境研究センター	2	2	2	6	69,246
産業科学技術センター	4	3	2	9	81,047
工科短期大学校	3	2	1	6	151,368
大分高等技術専門校	1	1		2	20,789
農林水産研究センター 水産試験場			1	1	14,900
用度管財課			1	1	9,981
体育保健課		1		1	6,785
総合体育館		4		4	36,834
国東高等学校	2	1		3	21,675
山香農業高等学校	1			1	9,242
大分工業高等学校		1	2	3	22,256
鶴崎工業高等学校		1	3	4	25,284
海洋科学高等学校	1			1	6,027
三重総合高等学校	4			4	45,164
久住校	1			1	9,241
日田林工高等学校		1	1	2	13,376
中津工業高等学校			1	1	6,522
宇佐産業科学高等学校	1		1	2	20,035

管理箇所	取得年度別点数				取得価格
	Ｈ１８	Ｈ１９	Ｈ２０	計	又は評価額
交通指導課			1	1	5,460
大分中央警察署	1			1	6,752
小　　計	22	17	17	56	650,726
企業局総務課	11	1	5	17	687,878
県立病院	7	16	14	37	588,832
三重病院	2	2	1	5	150,657
企業会計の固定資産計	20	19	20	59	1,427,367
24箇所合計	42	36	37	115	2,078,092

（注）１　千円未満を四捨五入しているため、各管理箇所の取得価格等の合計の額と「小計」の額とは、一致しない。

２　企業局総務課、県立病院及び三重病院の取得価格等は、消費税等相当額を含まない額である。

(2) 美術工芸品

ア　分類・取得価格別内訳

監査対象美術工芸品の分類及び取得価格別の内訳は、［表－７］のとおりである。

［表－７］監査対象美術工芸品の分類･取得価格別内訳

（単位：点、千円）

分類		取得価格別点数					取得価格
大分類	小分類	500万円以上1000万円未満	1000万円以上2000万円未満	2000万円以上5000万円未満	5000万円以上	計	又は評価額
図書･標本類	美術工芸品	127	75	66	34	302	7,014,341
	その他		1			1	18,600
小　　計		127	76	66	34	303	7,032,941
企業会計の固定資産		1	1			2	18,390
合　　計		128	77	66	34	305	7,051,331

（注）　企業会計の固定資産の取得価格等は、消費税等相当額を含まない額である。

イ　分類・取得年度別内訳

監査対象美術工芸品の分類及び取得年度別の内訳は、［表－８］のとおりである。なお、平成18年度から同20年度までの間に取得した３点は、すべて寄附を受けたもの（芸術会館１、歴史博物館２）であり、購入したものはなかった。

［表－８］監査対象美術工芸品の分類･取得年度別内訳

（単位：点）

分類		取得年度別点数									計
大分類	小分類	～S58	S59～S63	H1～H5	H6～H10	H11～H15	H16～H17	H18	H19	H20	
図書・標本類	美術工芸品	63	52	64	79	39	2	2	1	0	302
	その他		1								1
小　　計		63	53	64	79	39	2	2	1	0	303
企業会計の固定資産		1		1							2
合　　計		64	53	65	79	39	2	2	1	0	305

ウ　管理箇所・取得価格別内訳

監査対象美術工芸品の管理箇所及び取得価格別の内訳は、［表－９］のとおりである。

［表－９］監査対象美術工芸品の管理箇所･取得価格別内訳

（単位：点、千円）

管理箇所	取得価格別点数					取得価格又は評価額
	500万円以上1000万円未満	1000万円以上2000万円未満	2000万円以上5000万円未満	5000万円以上	計	
雇用･人材育成課		1			1	18,600
用度管財課		1			1	15,000
芸術会館	85	48	57	30	220	5,531,614
歴史博物館	31	22	9	4	66	1,340,922
国東高等学校		3			3	30,000
山香農業高等学校	1				1	8,000
大分工業高等学校		1			1	12,400
鶴崎工業高等学校	1				1	8,500
海洋科学高等学校	1				1	9,000
佐伯鶴岡高等学校	1				1	8,000
三重総合高等学校	3				3	22,205
玖珠農業高等学校	1				1	8,000
中津工業高等学校	1				1	5,000
宇佐産業科学高等学校	2				2	15,700
県立病院	1	1			2	18,390
15箇所合計	128	77	66	34	305	7,051,331

（注）　県立病院の取得価格等は、消費税等相当額を含まない額である。

(3) 動物

ア　管理箇所・分類別内訳

監査対象動物の管理箇所及び分類別の内訳は、[表－10] のとおりである。

[表－10] 監査対象動物の管理箇所・分類別内訳

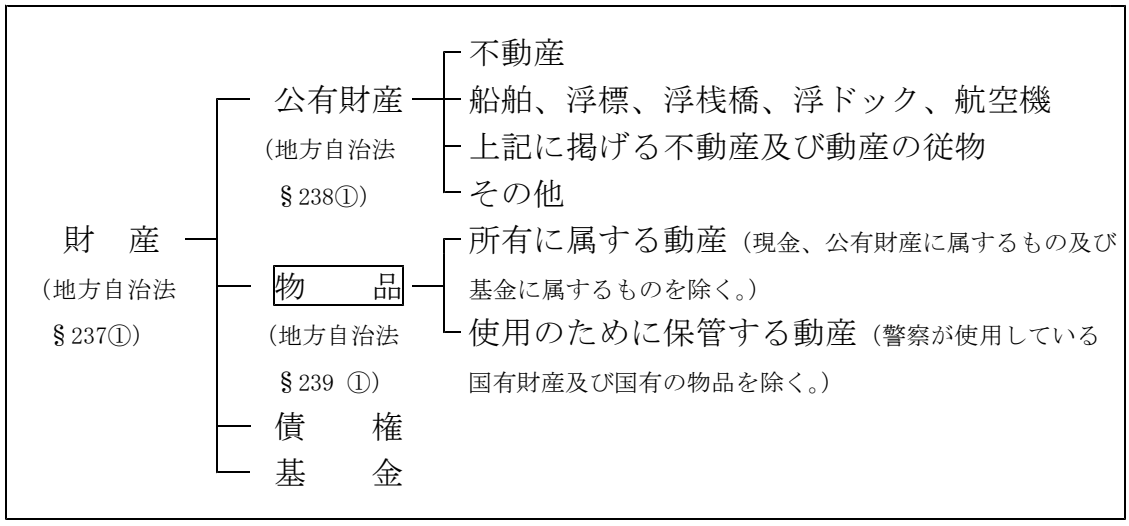
（単位：頭・羽、千円）

管理箇所	分類別頭・羽数								
	牛	豚	やぎ	馬	鶏	かも	計	うち購入	左に係る金額
農林水産研究センター畜産試験場	344						344	149	105,359
畜産試験場中小家畜・環境担当		590			4,630	186	5,406	308	1,858
農業大学校	30						30	10	3,796
山香農業高等学校	11						11	1	750
三重総合高等学校			3	2			5	2	45
三重総合高等学校久住校	16						16	0	0
玖珠農業高等学校	20	7					27	10	2,192
宇佐産業科学高等学校	6						6	2	1,255
８箇所合計	427	597	3	2	4,630	186	5,845	482	115,254

（注）　千円未満を四捨五入しているため、各管理箇所の購入に係る金額の合計の額と「８箇所合計」の額とは、一致しない。

２　設備等の管理事務の概要

今回監査対象とした設備等は、一部例外を除き、地方自治法にいう物品に該当するものである。地方自治法では、物品は、地方公共団体の所有に属する動産（現金、公有財産に属するもの及び基金に属するものを除く。）及び地方公共団体が使用のために保管する動産（警察法(昭和29年法律第162号)第78条第１項の規定により都道府県警察が使用している国有財産及び国有の物品を除く。）とされ、公有財産、債権及び基金とともに「財産」とされている（第237条、第239条)。

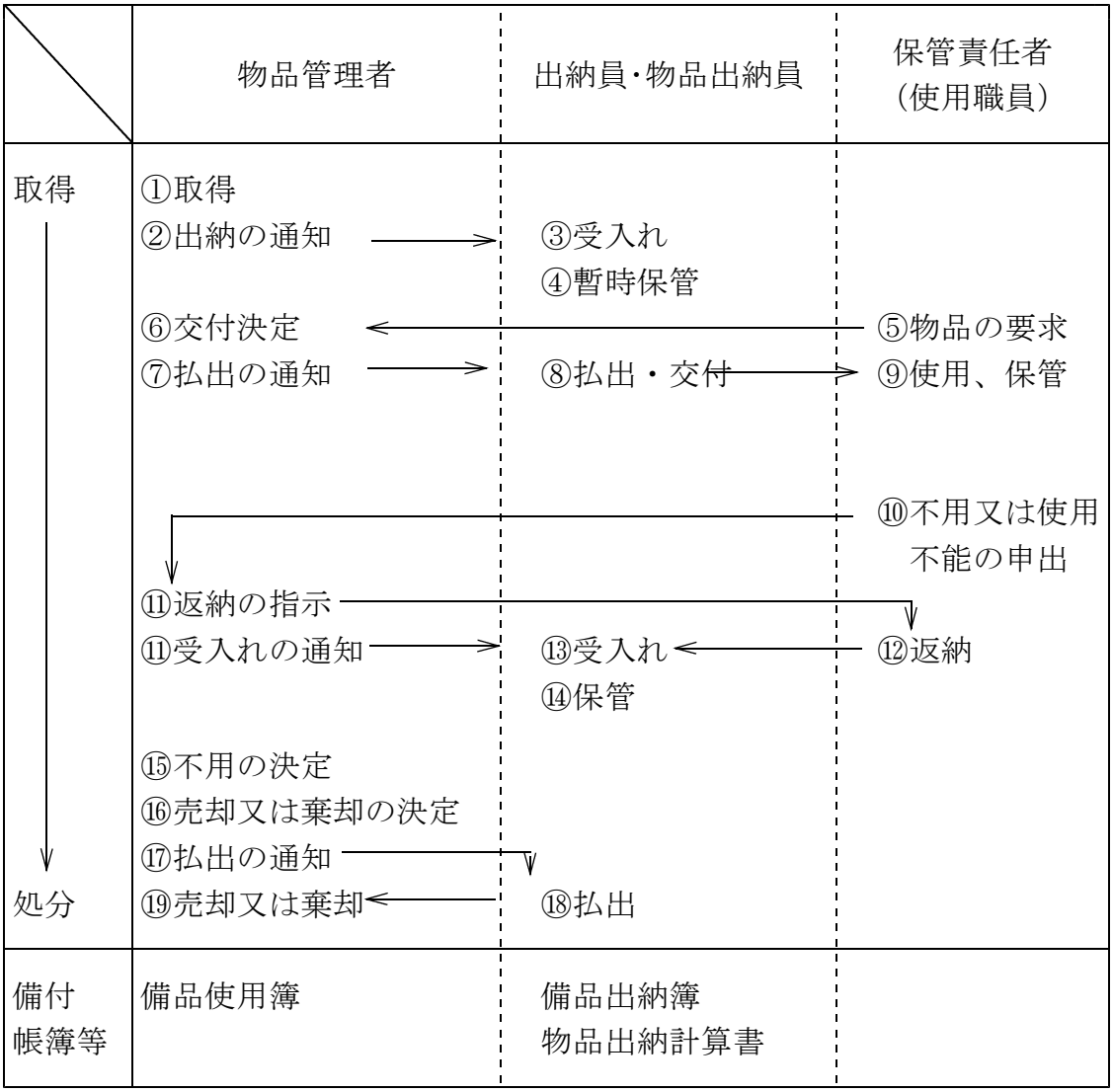


（注）　本県では、船舶については、総トン数２０トン以上のものを県有財産(公有財産)としている（大分県県有財産規則(昭和39年大分県規則第28号)第22条)。

物品の取得、管理及び処分に関し必要な事項は、大分県県有財産条例(昭和39年大分県条例第28号。以下「財産条例」という。)で定められ、規則第９章でその管理及び処分の手続が定められている。また、規則の運用については、「大分県会計規則の運用について(平成7年4月1日付け会第20号出納事務局長通知。以下「運用通知」という。)」が発せられている。

なお、企業局（大分県電気事業会計、大分県工業用水道事業会計）及び病院局（大分県病院事業会計）に属する公営企業用資産である設備等は、地方公営企業法施行規則(昭和27年総理府令第73号)第１条の規定に基づき、地方公営企業管理者（企業局長又は病院局長）が定める会計規程等によって管理されている。

(1) 物品管理事務の概要



ア　事務処理体制

(ｱ) 会計管理局用度管財課

物品管理事務については、会計管理局用度管財課(以下「用度管財課」という。）が、次に掲げる事務を分掌し、物品管理者並びに出納員及び物品出納員が行う事務処理の検査及び指導等を行っている（大分県行政組織規則(昭和31年大分県規則第10号)第46条)。

一　物品の取得、貸付け、修理及び処分に関すること。
二　物品管理事務の検査及び指導に関すること。
三　物品の出納、保管及び記録管理に関すること。
四　用品調達特別会計に関すること。
五　物品調達・管理方法の見直しに関すること。
六　物品納入業者の入札参加資格の認定及び登録に関すること。
七　庁用自動車等の管理の総括に関すること。

（注）　五は、平成21年4月1日に追加された事務。

(ｲ) 物品管理者

知事又は知事の権限の委任を受けて物品を取得し、管理し、及び処分する者を「物品管理者」という（規則第2条第7号)。

「かい」にあっては、大分県事務委任規則（昭和43年大分県規則第60号）第３条及び規則第４条の規定によりかい長にこれらの権限が委任されている。また、本庁等にあっては、大分県事務決裁規程(昭和43年大分県訓令甲第11号)等の規定により、各課(局、所、室)室長が物品の貸付け、評価額百万円未満の寄附物品の受納等、物品の取得及び管理に関する意思決定の権限を与えられている。

(ｳ) 出納員等

物品の出納及び保管（使用中の物品に係る保管を除く。）は、会計管理者が所掌し、本庁等にあっては、会計管理局に置かれる出納員及び必要に応じ置かれる物品出納員がその事務を補助する。また、「かい」にあっては､出納員又は物品出納員に物品の出納及び保管の事務が委任されている。（地方自治法第170条、規則第10条、第14条、第15条、大分県事務委任規則第4条、第6条)。

(ｴ) 保管責任者

使用中の物品の保管責任者は、特定の職員が職務上専ら使用する「専用物品」についてはその職員、不特定の職員の職務上の使用に供し、若しくは直接公共の用に供する「共用物品」については所属長の指定する職員とされている（規則第143条、運用通知第143条関係第1項)。

イ　物品の区分及び分類

物品は、次の１～５号に区分され、さらに詳細な分類及び品目が、「大分県物品分類表」で、使用目的に従って定められている（規則第141条)。

一　備品　形状及び性質を変えることなく比較的長期間にわたり使用に耐える物品

二　消耗品　短期間の使用によって消費される物品、実験用材料品（実験用小動物を含む。）として使用する物品その他備品としての取扱いに適しない物品

三　材料品　生産、製作、工事又は試験研究のための材料として使用される物品

四　動物　飼育する獣類、鳥類及び魚類

五　生産製作品　試験研究又は農作業等により生産し、若しくは製作し、又は収穫された物品

ウ　物品の保管

会計管理者等及び物品出納員並びに保管責任者は、その保管する物品について滅失、損傷、盗難等の予防を厳重にして一定の場所に保管しなければならない（規則第159条)。

また、機器類の取扱説明書や保証書は一括して保管し、万一の場合にも常に適正な使用がなされるよう配慮しておくことが求められている（運用通知第159条関係）。

エ　備品の表示

備品には、焼印・貼紙・ペンキ書その他品質に適する方法により、品名・番号・所属庁（かい）等の名称を表示しなければならない（規則第157条）。

オ　物品の部外貸付け

物品管理者は､その管理に属する物品を部外に貸し付けようとするときは、当該物品の借受けをしようとする者から物品借受申請書を提出させ、物品部外貸付調書により、貸付けの決定をし、出納員又は物品出納員に払出しの通知をする。貸付けの決定をしたときは、物品貸付決定通知書を申請者に送付し、当該申請者から物品借受書を徴さなければならない（規則第154条）。

貸付け期間は、１年（光ファイバーケーブルにあっては、10年）をこえることができない。ただし、必要がある場合は、これを更新することができる（運用通知第154条関係）。

なお、地方自治法では、物品は、条例又は議会の議決による場合でなければ、適正な対価なくしてこれを譲渡し、若しくは貸し付けてはならないとされ、本県では、財産条例で、公益上必要があるときは、他の地方公共団体その他公共団体又は私人に無償又は時価よりも低い価額で貸し付けることができると定められている(地方自治法第237条第2項、財産条例第6条)。

カ　物品の返納

職員は、その使用する物品が不用となったとき、又は使用に耐えなくなったときは、速やかに、物品管理者にその旨を申し出なければならない。申出を受けた物品管理者は、備品使用簿及び動物使用簿により、出納員又は物品出納員に受入れの通知をするとともに、使用職員をして当該物品を返納させなければならない。なお、本庁等の各課(局、所、室)室において不用又は使用に耐えなくなった物品については、物品引継書により会計管理者に引き継ぐものとされている（規則第147条）。

キ　物品の処分・管理換

物品管理者は、返納された物品のうち使用不能なもの又は県において使用する必要がなくなったものについては、物品不用決定調書により不用の決定をしなければならない。不用の決定をした物品は、物品売却調書により売却する。ただし、売り払うことが不利又は不適当と認めるもの及び売り払う価値のないものについては、物品不用決定調書にその旨を記載して棄却することができる（規則第148条）。

物品管理者は、物品の管理換えをしようとするときは物品管理換調書によ

り決定をし、出納員又は物品出納員に払出しの通知をするとともに、管理換先の物品管理者に物品管理換書を送付しなければならない（規則第149条）。

ク　関係職員に対する物品の譲渡

物品に関する事務に従事する職員は、政令で定める物品を除き、その取扱に係る物品を地方公共団体から譲り受けることができない。政令で定める物品には、①証紙その他価格が法令の規定により一定している物品及び②売払いを目的とする物品又は不用の決定をした物品で地方公共団体の長が指定するものの２つがある。②について本県では、生産製作品（生産数量が僅少で市場等に出荷するに適しない生産物又は試作品等で商品価値の少ない物品に限る。）及び県において使用する必要がなくなった物品で評価額が1,000円以下のものの２つが指定されている(地方自治法第239条第2項、地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第170条の2、規則第158条、運用通知第158条関係)。

ケ　帳簿

本庁等及び「かい」においては、物品の出納に関して帳簿を備え、必要な事項を記載しなければならない。このうち備品の出納に関する帳簿は、下表のとおりであり、備品以外の物品についても、その区分に応じて動物使用簿、動物出納簿、消耗品出納簿、材料品出納簿、生産製作品出納簿等の帳簿を備えることとされている（規則第161条）。

なお、本庁等の物品管理者(知事)又は会計管理者の備え付ける帳簿にあっては、各課(局、所、室)室長又は本庁等の物品出納員に分冊して記載させることができ、使用中の物品については、各課(局、所、室)室にこれらの帳簿が備え付けられている。また、借用物品は、県有物品の取扱いに準じて取り扱うこととされている（規則第161条、運用通知第161条関係）。

帳簿名	備え付ける者	記載事項
備品使用簿	物品管理者	使用者、引継年月日、品目･規格品質･数量、交付･返納年月日等
備品出納簿	会計管理者、出納員、物品出納員	品目、出納員、年月日、出納理由、受払数、取得価格、規格品質等

コ　物品出納計算書の作成

かいの出納員及び物品出納員は、毎会計年度末現在でその会計年度の物品出納計算書を調製し、翌年度の６月30日までに会計管理者に提出しなければならない。なお、当分の間、会計管理者が特に提出を求める年度又は「かい」を除き、提出を要しないものとされている（規則第167条、運用通知第167条

関係)。

サ　重要物品

(ｱ) 重要物品

本県では、地方自治法施行令第166条第2項に規定する財産に関する調書に記載する物品は、一定の要件に該当する動力船、自動車、図書及び美術工芸品並びに取得価格又は評価額が200万円以上の備品とし、これらを「重要物品」としている（規則第142条第1項)。

(ｲ) 重要物品台帳

重要物品については､重要物品台帳を作成して管理しなければならない。なお、重要物品台帳の記載項目は、分類、品目、整理番号、購入金額又は評価額、財源内訳、購入先、メーカー等、規格品質、耐用年数等となっている（規則第142条第2項)。

(ｳ) 重要物品の取得等に係る合議

重要物品の取得、処分及び貸付けについては、会計管理者等に合議しなければならない（規則第5条第1号)。

(ｴ) 重要物品に係るその他の取扱い

重要物品の効率的、計画的な運営活用を図るため、以下の取扱いが定められている（運用通知第142条関係)。

a　処分（売却、棄却、譲渡、交換）する場合はその処分方法について事前に文書にて用度管財課（かいにあっては主管課を経由）へ協議すること。

b　取得、処分及び貸付等の変動があった場合は、現況を把握する必要からすみやかに重要物品の変動報告書により用度管財課（かいにあっては主管課を経由）に報告すること。

c　重要物品台帳にはその裏面に写真を貼付すること。

d　重要物品を取得した場合は、物品管理者は、取得の報告時に台帳を用度管財課に一部送付し、かいにあっては主管課にも一部送付すること。

e　重要物品を管理換えする場合は台帳とともに行うこと。

f　道路運送車両法(昭和26年法律第183号)第4条により登録を受けていない自動車は、「運搬具」扱いとし、取得価格又は評価額が200万円以上のものを重要物品とすること。

g　大分県庁用自動車管理規程(昭和49年大分県訓令甲第４号)による庁用自動車等については、ａからｅまでの取扱いにかかわらず、同規程により取り扱うことができる。

h　美術工芸品は､時価評価額とし､用度管財課において一括評価を行う。

シ　財産の報告

本庁等の各部（局、所、室）長、警察本部長及び教育長は、重要物品及び基金について、毎会計年度末現在の財産調書を調製し、翌年度の７月20日ま

でに会計管理者に報告しなければならない（規則第163条）。

ス　特別の取扱い

県の会計事務について、規則により難いときは、知事の承認を受けて特別の取扱いをすることができる（規則第191条）。

本条の規定に基づき、複数の地方機関において、帳簿の作成や生産製作品の取扱いなどに関して、特別の取扱いが行われている。

(2) 平成19年度包括外部監査の結果及び総合意見の概要

平成19年度に、「物品等の購入手続と管理使用状況について」をテーマに、用品調達特別会計を所管する用度管財課及び17・18両年度の用品調達額に基づき選定した物品購入部署19部署を対象とした包括外部監査が行われ、包括外部監査人から、物品管理等について、次のような総合意見（包括外部監査の結果に添えて提出する意見）が提出された。

① 物品の管理について・・・物品管理システムの導入、単品管理の徹底、番号管理の徹底と備品表示の見直し

② 物品の有効的活用について・・・所属間の連携強化、遊休物品の取扱いの明確化、利用状況の計画対実績比較の実施

③ その他・・・情報資産管理の徹底、守秘義務契約の締結、物品調達の意思決定に係るガイドラインの作成、随意契約の監視機能の強化

(3) 物品調達・備品管理システム導入の検討

用度管財課では、規則第174条に基づく会計（物品）検査、平成19年度包括外部監査の結果、中期行財政運営ビジョンなどを受け、物品調達システムと備品管理システムの導入について平成20年度から検討している。

備品管理システムの導入により、備品出納簿等の帳票類や決算、会計検査等に係る資料の作成が容易になるなど事務の省力化・効率化・適正化が図られるとともに、他所属の備品保有状況が把握できることにより備品の有効活用が図られる、としている。なお、導入時期については、物品調達・備品管理システムは財務会計システムとの密接な連携が必要であることから、現在検討されている同システムの改修と同時期を予定している。

第４　監査の結果及び意見

１　機械器具等

(1) 機器等の整備計画

監査対象機械器具等を管理している58箇所における機器等の整備計画の作成状況は、［表－11］のとおりである。38箇所65.5パーセントにおいて整備計画が作成されていなかったが、整備計画を作成していない理由は、いずれもその合理性が認められた。

［表－11］機器等の整備計画の作成状況　（単位：箇所、％）

作成している	20(34.5)
作成していない	38(65.5)
(理由別内訳)	
当面機器整備の予定がないため	18(31.0)
毎年度予算要求時に検討するため	14(24.2)
他の整備基準等に従って整備するため(庁用自動車等)	5(8.6)
現在整備中のため	1(1.7)
計	58(100.0)

(2) 購入と賃借（リース）との比較検討

平成18年度から同20年度までの間に購入し、又は賃借（リース）を開始した監査対象機械器具等118点に係る購入と賃借（リース）との比較検討の状況は、［表－12］のとおりである。99点83.9パーセントについて購入と賃借（リース）との比較検討がされていなかったが、比較検討をしなかった理由は、いずれもその合理性が認められた。今後とも、機器等の導入に当たっては、購入、賃借（リース）それぞれの特徴を踏まえて比較検討することを励行されたい。

［表－12］購入と賃借（リース）との比較検討状況　（単位：点、％）

区　分	点　数 (構成比)	うち借用
比較検討した	19(16.1)	6
比較検討しなかった	99(83.9)	3
(理由別内訳)		
後年度の償還費用に地方交付税措置がある企業債によるのが有利なため(病院)	37(31.3)	0
購入が補助条件であったため	31(26.3)	0
長期間使用するためリースより購入の方が割安になるなど経済的優位が明白であったため	27(22.9)	1
リースの市場がないため	2(1.7)	0
電算システムであるため	2(1.7)	2
計	118(100.0)	9

（参考）購入とリースの特徴

購　　入	リース
・　国等の補助金を受けることができる。 ・　導入費用が単年度の負担となる。 ・　処分する時期の見極めが難しい。 ・　処分費用が発生する。	・　国等の補助の対象にならない場合が多い。 ・　導入費用を平準化することができる。 ・　最新の機器を使うことができる。 ・　金利及び手数料が上乗せされるため、導入費用が多大となる。

(3) 機種選定時の検討

平成18年度から同20年度までの間に購入し、又は賃借（リース）を開始した監査対象機械器具等118点について、機種選定又は仕様決定に当たって利用予定日数、ランニングコスト、利用者の要望等の事項はおおむね検討されていたが、１箇所の１点については、購入の決裁文書に仕様決定の理由が記載されていなかったため、今後は、仕様決定の理由を明確に記載する必要がある。

(4) 機器等の管理

ア　帳簿と現品の照合の実施

監査対象機械器具等を管理している58箇所における帳簿と現品の照合の実施状況は、[表－13] のとおりであり、13箇所22.4パーセントにおいて実施されていなかった。

また、実施している管理箇所においても、その実施方法は様々であり、一部の機器等についてしか実施していなかったり、故障等で使用に耐えない機器等が使用中とされたままになっているなど、不適切な実施状況であった。

このため、帳簿と現品の照合を定期的に行っていない管理箇所は、今後これを行うとともに、用度管財課にあっては、帳簿と現品の照合の実施要領を示すなどして、その実施について強く指導する必要がある。

[表－13] 帳簿と現品の照合の実施状況　　（単位：箇所、%）

年１回以上実施している	実施していない	（理由別内訳）				計
		常時目視できる	照合を行う必要を認識していない	一部についてしか実施していない	その他	
45 (77.6)	13 (22.4)	3 (5.2)	4 (6.8)	3 (5.2)	3 (5.2)	58 (100.0)

イ　機器等に係る保守点検の実施

平成20年度における監査対象機械器具等に係る保守点検の実施状況は、[表－14] のとおりである。

保守点検には、法令の規定により点検が義務づけられている法定点検と、法定点検以外に、メーカーの取扱説明書で推奨されているなどの自主点検があり、20年度の実施件数は計486件であった。また、保守点検を外注した138件に係る費用は、約１億9,400万円であった。

［表－14］平成20年度における機械器具等に係る保守点検の実施状況

（単位：点、件、円）

区　　分	実　施 機器数	実施件数			外注に係る費用
			外注	職員 実施	
法定点検	36	36	35	1	13,105,840
自主点検	432	450	103	347	180,903,186
一般会計	112	112	49	63	103,420,717
公営企業会計	320	338	54	284	77,482,469
計		486	138	348	194,009,026

（注）１　同一機器について外注及び職員による点検の両方を実施した場合は、それぞれ1件として計上したため、実施機器数と実施件数とは一致しない。

２　費用には、点検と併せて行った修繕に係る費用や電子計算機システムの運営費用なども含まれている。

(ｱ) 法定点検の実施

法定点検を要する監査対象機械器具等43点のうち平成20年度に実施する必要があった37点に係る点検実施状況は、［表－15］のとおりである。法定点検を実施しなかった次の１点は、早急に点検を実施する必要がある。

なお、点検の結果必要とされた措置がとられていないものは、見受けられなかった。

［実施すべき法定点検をしていなかったもの］

・　**中津工業高等学校「シャーリング」**（金属の切断機械、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第45条の規定による法定点検）

［表－15］平成20年度の法定点検実施状況　　（単位：箇所、点）

区　　分	管理箇所数	要点検機器数	左のうち20年度要実施		
			機器数	実施	不実施
道路運送車両法第48条	8	17	12	12	0
医療法第6条の10	2	13	13	13	0
労働安全衛生法第45条	7	7	7	6	1
食品衛生法第29条	1	4	4	4	0
船舶安全法第5条	2	2	1	1	0
計	20	43	37	36	1

(ｲ) 自主点検の実施

平成20年度に自主点検を実施したものは、監査対象機械器具等の合計1,089点の39.7パーセントに当たる432点であった。

自主点検の必要度は、機器等の利用目的、性質、利用頻度などによって異なるものであり、また、予算上の制約で外注できないものもある。

しかし、次のものは、その使用目的から、年に１回程度は点検を行い非常の事態に備えることが必要と考えられるため、早急に改善する必要がある。

［必要と思われる自主点検を実施していなかったもの］

・　**防災危機管理課「エアーテント」**（災害対策用）

職員の異動に伴って組立てをできる者がいなくなり、非常の際に使用することができない状況であった。

(ｳ) 保守点検に係る記録の管理

監査対象機械器具等を管理している58箇所のうち、平成20年度に保守点検を実施したものは、41箇所であった。このうち５箇所において、保守点検の記録が会計書類にとじ込まれたままになっており、保管責任者が必要なときに直ちに参照できない状況が見受けられた。

保守点検の記録は、当該機器の点検時の状態及び修繕の履歴を示す書類として重要なものであり、当該機器を処分するまで、必要なときに直ちに参照できる状態で保管しておく必要がある。

ウ　修繕

平成18年度から同20年度までの間に実施された監査対象機械器具等の修繕について監査したところ、［表－16］の５点について、検討を要する状況が認められた。

これらは、修繕しても安全上の問題が残るもの、３年間で９回の修繕を行ったもの、７回の修繕を行い取得価格の28.7パーセントに当たる修繕費用を要したものなどであり、買い換えた場合の費用と修繕の費用とを比較し、買換えも検討すべきである。

なお、修繕の記録についても、点検の記録と同様に、当該機器を処分するまで、必要なときに直ちに参照できる状態で保管しておく必要がある。

［表－16］検討を要する機械器具等の状況　　（単位：円、年、回、％）

管理箇所	品目名称等（取得価格）	取得年（耐用年数）	18～20年度に実施した修繕	
			回数	支出額（取得価格比）
竹工芸･訓練支援センター	電動型昇降浴槽 (8,382,000)	H2 (5)	3	150,234 (1.8)
農林水産研究センター 林業試験場	高温蒸気式木材乾燥機 (11,999,400)	H11 (8)	4	456,561 (3.8)
農林水産研究センター 宇佐管理部	トラクター (5,248,600)	H13 (8)	9	432,411 (8.2)
農林水産研究センター 畜産試験場	大型特殊農耕用トラクター (6,510,700)	H10 (8)	9	1,626,723 (25.0)
	大型特殊農耕用トラクター (6,980,800)	H7 (8)	7	2,004,806 (28.7)

エ　その他管理が不適正・不適切なもの

監査の過程において、次のとおり不適正又は不適切な事務処理が行われたものが見受けられた。

(ｱ) 不用決定をせずに売却又は棄却したもの、重要物品処分の協議後不用決定をしていないもの、不用決定後売却又は棄却していないもの

(ｲ) ○○一式とした機器の内訳の記載がなく帳簿と現品の照合に支障があるもの、一式のうちの一部機器を更新した際に取得価格を改定していなかったもの

(ｳ) 備品表示がないものや不鮮明なもの、重要物品台帳の記載にもれがあるもの

(ｴ) 機器の不調や無断使用防止措置の不備など機器利用者の安全確保が十分でないもの

(ｵ) 貸付けに当たり合議をしていないもの、利用状況の把握など借受者に対する指導が十分でないもの

このため、これらのものについて適正に処理し、又は今後適正・適切に行う必要がある。

オ　物品管理事務の指導

上記エの(ｴ)、(ｵ)の問題点は、たとえば保管責任者が管理すべきことが抽象的に定められているのみで明確でないことなど、物品管理事務に関する規則の規定や指導が十分でないことも、その原因として考えられる。

用度管財課においては、毎年度、物品管理事務に関する研修会を実施し、

また、物品検査を年間40所属程度に対して実施し個別に指導を行っているが、本庁等の課等及び「かい」は約260あり、物品検査を通じての個別指導には限界がある。

このため、用度管財課においては、より適正かつ効率的な物品管理事務の執行に資するため、物品検査や日々の業務で把握した物品管理事務に係る疑義等の事例を踏まえた事務処理マニュアルを作成する必要がある。

(5) 機器等の有効活用

ア　機器等の利用状況

［表－17］のとおり、監査対象機械器具等1,089点のうち、平成20年度において利用実績がないものが154点14.1パーセント、利用日数が１日～49日のものが250点23.0パーセントあった。

［表－17］機器等の平成20年度利用日数別内訳　（単位：点、％）

区　分	０日	１～49日	1～9日	10～19日	20～29日	30～39日	40～49日	50～99日	100～199日	200日～	計
点　数	154	250	62	57	57	50	24	103	95	487	1,089
構成比	14.1	23.0	5.7	5.3	5.3	4.5	2.2	9.5	8.7	44.7	100.0

(ｱ) 利用実績がない機器等の理由別内訳

利用実績がない154点の理由別内訳は、［表－18］のとおり、取得目的の達成によるものが57点37.0パーセントで最も多く、次いで陳腐化によるものが32点20.8パーセント、故障によるものが28点18.2パーセントであった。また、利用実績がない154点のうち69点44.8パーセントは、今後廃棄する方針とされていた。

［表－18］平成20年度利用実績がない機器等の理由別内訳　（単位：点、％）

利用実績がない理由	内　訳			
			うち廃棄予定	
	点数 A	構成比	点数 B	割合 B/A
取得目的達成	57	37.0	24	42.1
陳腐化	32	20.8	23	71.9
故　障	28	18.2	22	78.6
試験依頼･利用申込がなかった	17	11.0	0	0.0
20年度末取得	10	6.5	0	0.0
災害等所定の利用機会がなかった	6	3.9	0	0.0
使いにくい	3	1.9	0	0.0
その他	1	0.7	0	0.0
計	154	100.0	69	44.8

(ｲ) 利用が低調な機器等の理由別内訳

利用が低調と思われる利用日数が１日～49日の250点の理由別内訳は、［表－19］のとおり試験依頼や利用申込の低調によるものが101点40.4パーセントで最も多く、次いで利用計画上向上が困難であるものが98点39.2パーセントであった。

［表－19］平成20年度利用日数が１日～49日の機器等の理由別内訳

（単位：点、％）

利用が低調な理由	内訳			
			うち廃棄予定	
	点数 A	構成比	点数 B	割合 B/A
試験依頼･利用申込が低調であった	101	40.4	0	0.0
利用計画上、向上が困難	98	39.2	0	0.0
取得目的達成	18	7.2	0	0.0
災害等所定の利用機会が少なかった	14	5.6	0	0.0
陳腐化	11	4.4	4	36.4
20年度途中取得	3	1.2	0	0.0
故　障	3	1.2	0	0.0
使いにくい	2	0.8	0	0.0
計	250	100.0	4	1.6

イ　管理箇所における機器等の利活用

利用実績がない機器等及び利用が低調な機器等の今後の利用向上方針について、単に広報に努めるとするなど、具体性に乏しく実効性に疑問を抱かせるものが見受けられたので、各管理箇所においては具体的な利用向上策を実施した上で、利用向上が見られない場合には、管理換えや売却も検討する必要がある。

（事例１）　産業科学技術センター

「イオンクロマトグラフ」　取得価格 6,447千円

平成20年３月に取得後、既存の機器で分析できる試料に比べ極めて微量の成分しか含まない試料の高精度分析に用い、既存の機器と使い分けて依頼試験・機器貸付け等に供しているが、21年11月の時点まで利用の申し込みがなく、まったく使われていない状況であった。

（事例２）　農林水産研究センター林業試験場産業工芸試験所

「マイクロ波加熱装置」　取得価格 7,000千円

機器貸付け等に供しているものであるが、平成18年４月に故障した後まったく利用されていなかった。21年３月に修繕を行った後も、家具等試作用木材の乾燥のため職員が２回使用したものの、使用可能となったことをユーザーに周知しなかったため、21年10月の時点まで機器貸付けでの利用はまったくない状況であった。

ウ　管理箇所における不用機器等の処分等

利用実績がない154点のうち69点44.8パーセントは、今後廃棄する方針とされていた。このほかにも、利用実績がない理由が取得目的達成、陳腐化、故障等であるものの中には、当該管理箇所における今後の利用が見込まれないと見受けられるものがあった。

このため、各管理箇所は、常に保管する機器等の状態及び利用状況を点検し、不用のものを管理換えするなど有効活用に努めた上で、なお不用のものについて、使用不能なものと共に速やかに売却する必要がある。

（事例）　医務課

「テレビ会議システム」　取得価格　95,724千円

大分市内の医療機関とへき地の医療機関を結ぶ情報通信システムであり、へき地の医療機関が各専門医に写真や動画等を送信し、助言を得るなどを目的としたものであるが、インターネットや携帯電話等代替手段の普及・機能向上により、平成20年度は利用されていない状況であった。また、システム運営のための、関係機器を設置する部屋、症例検討用会議室等からなる建物（延床面積180.29平方メートル）についても、活用状況は同様であった。

エ　不用機器等の全庁的な活用及び処分

不用機器等の管理換えや売却を効率的に行うため、各所属の不用機器等の情報を取りまとめ、県の他の機関、市町村その他公共団体、公共的団体等に提示し、管理換えや取得の希望を募る仕組みを検討する必要がある。

また、今後利用が見込まれない機器等を保有し続けている理由として、処分費用がないことを挙げた管理箇所が多かったため、不用機器等の棄却についても、共同処理によって一定の排出量を確保するなど廃棄物処理費用を軽減する方策を検討する必要がある。

オ　機器等の相互利用・共同利用

監査対象機械器具等には、［表－20］のように、複数の機関で同種の機器等を管理しているものがある。

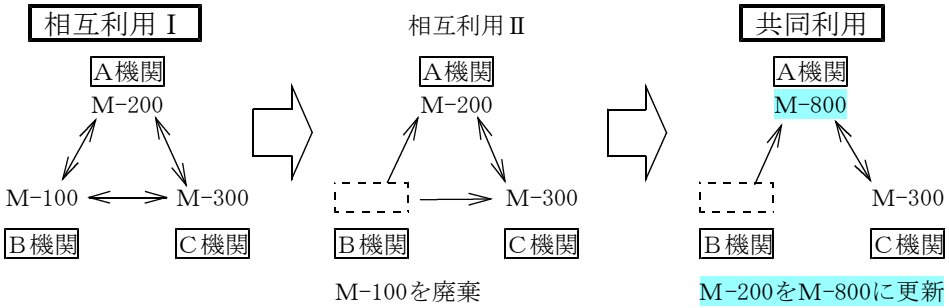
本県においては、中期行財政運営ビジョンによるさらなる行財政改革の取組の一環として農林水産研究センターの再編など組織の簡素効率化への取組がなされており、また、少子化を見据えた高等学校の再編整備も行われている。

このような取組を踏まえ、また、将来の社会像を見据えた行財政運営を考慮すると、今後、高額な機器等の取得、利用及び保守管理をさらに効率的に行って経費削減を図る必要がある。その一策として機器等の相互利用や共同利用が有効と考えられる。

［表－20］複数の機関で同種の機器等を管理している一例（単位：円、日）

機器等名	管理箇所	取得価格	平成20年度保守点検費用	20年度年間利用日数
電子顕微鏡	衛生環境研究センター	36,990,000	1,336,650	8
	産業科学技術センター（食品産業担当）	13,261,300	796,950	10
	（電子･情報担当）	15,141,000	0	5
	（工業化学担当）	51,870,000	1,169,700	124
	（工業化学担当）	19,997,000	0	18
	工科短期大学校	9,701,000	0	16
	農林水産研究センター きのこ研究所	29,133,000	1,564,500	20
	安全農業研究所	29,720,000	1,258,740	21
	林業試験場	8,158,000	0	0
	歴史博物館	22,928,000	0	12
	鶴崎工業高等学校	14,421,000	0	12
	中津工業高等学校	14,418,000	0	16
遠心機	衛生環境研究センター	6,994,000	0	22
	産業科学技術センター（食品産業担当）	5,983,500	0	10
	（食品産業担当）	15,966,600	0	10
	（食品産業担当）	6,825,000	0	2
	農林水産研究センター きのこ研究所	5,974,000	0	4
	水田農業研究所	9,380,000	0	73
	水産試験場	5,770,000	0	0
	大分家畜保健衛生所	12,998,570	0	2
測量用ＧＰＳ装置	大分工業高等学校	7,019,000	0	8
	佐伯鶴岡高等学校	6,240,300	0	8
	日田林工高等学校	6,300,000	0	70
	中津工業高等学校	6,272,000	0	0

（参考）相互利用・共同利用のイメージ(一例)　　＊図中「M」は、機器を表す。



(7) 相互利用

衛生環境研究センター、産業科学技術センター及び農林水産研究センターが保有する設備機器については、その相互利用を図るため「試験研究機関設備機器相互利用実施要領」が定められ、平成19年１月４日から施行されている。同要領では、他機関の設備機器を利用する手続、消耗品や故障時の費用分担、利用可能設備機器の一覧表の更新、相互利用担当者の設置などが定められている。

しかし、今回の監査において、大分市内にある衛生環境研究センター及び産業科学技術センターの２機関について同要領による監査対象機械器具等の相互利用の状況を試査したところ、実績があったものは［表－21］記載の１点にとどまり、また、利用可能機器の一覧表が最新のものに更新されていないなどの状況が見受けられ、機器等の相互利用に関する職員の意識は低いと認められた。

監査対象機械器具等には、［表－20］のように、複数の機関で同種の機器等を管理している例があり、中には、毎年高額の保守点検料を支出しているものも見受けられた。

こうしたことから、関係試験研究機関にあっては、機器等の相互利用が進まない要因を把握し、同要領を実効性のあるものにした上で、相互利用を推進する必要がある。

また、その他の機関が管理する機器等についても、国庫補助等により取得した機器等の用途制限に留意しつつも、高額な機器等の相互利用を積極的に推進し、経費削減とさらなる有効利用を図る必要がある。

［表－21］試験研究機関の機器等相互利用の状況(抜すい)（単位：円、日）

管理箇所 (相互利用可能機器数 ／監査対象機器等数)	品目名称等 (取得価格)	取得年	平成20年度利	
			用日数	うち相互利用
衛生環境研究センター (19/ 29点)	電子顕微鏡 (36,990,000)	H15	8	0
	高速液体クロマトグラフ (7,623,000)	H7	20	0
	超高速遠心機 (6,994,000)	S59	22	0
	ガスクロマトグラフ質量分析装置 (9,176,800)	H9	0	0
産業科学技術センター (129/129点)	床置型精密万能試験機 (5,113,500)	H19	45	1
	電界放出形走査電子顕微鏡 (51,870,000)	H16	124	0
	高速液体クロマトグラフィー (6,927,900)	H19	80	0
	多機能型超高速遠心機 (15,966,600)	H8	10	0
	熱分解ガスクロマトグラフ質量分析装置 (22,417,500)	H17	61	0

(ｲ) 共同利用

今後、高額な機器等の取得、利用及び保守管理を効率的に行って経費削減を図るためには、現在保有している機器等の相互利用だけでなく、新たに導入する機器等の共同利用も有効である。

このため、新たな機器等の導入に当たって、各所属が必要とする性能を最低限満たすものを所属ごとに導入するのではなく、できるだけ幅広い用途に対応できる上級の機器を少数導入して複数の所属の利用に供するなどの共同利用の仕組みを検討する必要がある。なお、検討に当たっては、共同利用をしやすい機器の配置等に留意する必要がある。

カ　他の団体等との連携

監査対象機械器具等を用いて行った他都道府県の研究機関や大学、民間企業との共同研究などとしては、次の例があった。

今後は、こうした共同研究などに加え、機器等の有効活用を図るため、例えば、試験研究機関が管理する機器等を高校生や職業訓練生、製造業従事者などの技術水準向上のために開放するなど、その取得目的や管理機関の設置

目的にとらわれない活用方法も検討する必要がある。なお、検討に当たっては、県が関与している公共的団体が管理する機器等もできるだけ対象にする必要がある。

（事例１）産業科学技術センターの例

九州・沖縄公設試験研究機関の相互連携に関する決議に基づくマグネシウム合金に関する共同研究（平成19年度～、難燃性マグネシウム合金の溶解･鋳造技術の高度化）の一部として、22年度に、「ワックス射出成形機」を用いた鋳型造形及び「焼成炉」を用いた材料高強度化のための真空熱処理を行う予定である。

（事例２）工科短期大学校の例１

大学や企業等による共同研究（平成18～21年度、マシニングセンターで行う精密計測の技術開発と超精密金型部品のより効率的な切削加工技術の研究）の一部を財団法人大分県産業創造機構から委託され、「マシニングセンター」及び「三次元測定機」を用いて、様々な条件の下で高硬度金型材の試験加工を行い、その結果をまとめたデータベースの構築と適切な加工条件の研究を行っている。

（事例３）工科短期大学校の例２

平成22年度から「プレス」及び「三次元測定機」を用いて、ものづくりの基盤技術の集積を目的に、県内進出企業と連携し、金型の保全技術者を養成する研修を実施する予定である。

(6) 機器等導入による成果の評価

ア　直接的な評価

監査対象機械器具等を管理している58箇所について、機器等導入後に使い勝手、実際のランニングコスト、故障の有無など機器等そのものの評価・検証を行っているか監査したところ、58箇所すべてで行っていなかった。

導入後にこれらの事項について評価・検証を行い、全庁的にその情報を共有することは、仕様決定等の機器等調達事務を行う上で有益であると考えられる。

このため、導入後に機器等の評価・検証を行わせ、その情報を共有し、調達事務に生かす仕組みを検討する必要がある。

イ　間接的な評価

監査対象機械器具等のうち試験研究の目的に用いるものを管理している14箇所については、外部評価委員会による調査研究評価、機関評価等により、おおむね機器等導入の成果が間接的に評価されていた。

2　美術工芸品

(1) 美術工芸品の管理

ア　帳簿と現品の照合の実施

監査対象美術工芸品を管理している15箇所における帳簿と現品の照合の実施状況は、［表－22］のとおりであり、８箇所53.4パーセントにおいて実施されていなかった。

美術工芸品においては、現品の確認は、重要なものである。このため、帳簿と現品の照合を定期的に行っていない管理箇所は、今後これを行うとともに、用度管財課にあっては、帳簿と現品の照合の実施要領を示すなどして、その実施について強く指導する必要がある。なお、芸術会館にあっては、高額な収蔵品が多数に上ることから、複数人による確認が求められる。

［表－22］帳簿と現品の照合の実施状況　　（単位：箇所、％）

年１回以上実施している	実施していない	（理由別内訳）			計
		常時目視できる	展示や貸付けの際に確認している	照合を行う必要を認識していない	
7(46.6)	8(53.4)	6(40.0)	1(6.7)	1(6.7)	15(100.0)

イ　点検及び修繕

平成20年度において、監査対象美術工芸品に、点検や修繕が行われたものはなかった。

(2) 美術工芸品の有効活用

［表－23］のとおり、監査対象美術工芸品305点のうち、平成20年度において活用実績がないものが122点40.0パーセント、活用日数が１日～19日のものが10点3.3パーセントあった。なお、活用日数が200日以上の美術工芸品は、すべて常時展示されているものである。

［表－23］美術工芸品の平成20年度活用日数別内訳　　（単位：点、％）

区　分			0日	1～19日	20～49日	50～199日	200日～	計
博物館	芸術会館	点　数	103	10	79	24	4	220
		構成比	46.8	4.5	36.0	10.9	1.8	100.0
	歴史博物館	点　数	17	0	2	8	39	66
		構成比	25.8	0.0	3.0	12.1	59.1	100.0
その他		点　数	2	0	0	0	17	19
		構成比	10.5	0.0	0.0	0.0	89.5	100.0
合　計		点　数	122	10	81	32	60	305
		構成比	40.0	3.3	26.5	10.5	19.7	100.0

ア　芸術会館・歴史博物館

芸術会館及び歴史博物館は、博物館法(昭和26年法律第285号)に定める博物館であり、歴史、芸術、民俗等に係る資料を収集し、保管し、展示して公衆の利用に供することを、その主たる目的としている。

両館が管理する監査対象美術工芸品の平成20年度における活用（展示）状況は、[表－23]のとおり、常設展示施設のある歴史博物館においては200日以上展示されたものが59.1パーセントを占める一方、それがない芸術会館においては活用実績がないものが46.8パーセントを占めている。

監査において、平成20年度に活用実績がないものについて、19年度以前の活用（展示）状況を確認しようとしたところ、両館とも収蔵品の展示状況を一覧できる資料を作成しておらず、直ちに確認することはできなかった。なお、芸術会館にあっては、監査対象でない収蔵品の中に購入してから一度も展示されないままになっているものがあることが明らかになっている。

収蔵品の展示は、博物館の根幹をなす事業であり、たとえ調査研究目的で取得したものであっても、できるだけ展示することが望まれることから、各収蔵品の展示状況を把握し、長期間展示されないものが生じないよう、その方策を検討する必要がある。

両館に係る個別の意見は、次のとおりである。

(ｱ) 芸術会館

芸術会館が管理する監査対象美術工芸品220点のうち、平成20年度において活用実績がないものが103点46.8パーセントあり、その理由は、展示機会、展示場所の不足としている。

同館の収蔵品の年間の展示可能点数は、平常展で約250点、県内の小中学校において館外展示を行うスクールミュージアム事業で約150点の合計約400点にとどまり、収蔵品約4,500点のうち下絵、素描など約2,100点が展示になじまないとしても、残る約2,400点について、平均して６年に１回しか展示できない状態である。

展示場所の不足については、これまでに各方面から指摘されており、平成22年１月に設置された「美術館構想検討委員会」では、こうした現状を踏まえた美術館基本構想が検討されている。

展示場所の不足が抜本的に改善されるまでの間においても、既に実施しているスクールミュージアム事業や民間への有償貸付け制度の整備、今後実施することとしている県庁舎等での展示に加え、歴史博物館の企画展示室における館外展示や市町村への貸付けの促進策なども検討する必要がある。

また、収蔵品の一部についてはホームページにその情報を掲載しているが、今後、著作権に留意した上で、質量共にこれを充実し、県民の作品鑑賞の動機付けや、貸付けの促進などに役立てる必要がある。

(ｲ) 歴史博物館

歴史博物館が管理する監査対象美術工芸品66点のうち、平成20年度にお

いて活用実績がないものが17点25.8パーセントあり、その理由は、当該年度の企画展等で展示する計画がなかったためとしている。このうち15点は、17年度～19年度の企画展で展示され、他の２点は、常設展示されている富貴寺大堂復元壁画の原画となった模写で、今後活用方法を検討するとしている。

同館にあっては、収蔵品展を行ったり、教育庁埋蔵文化財センター及び先哲史料館と協力して大分市内において収蔵品の館外展示を行うなど、展示機会の拡大を図っている。今後も、収蔵品を有効に活用し、また、県民の鑑賞機会をより身近にするため、こうした取組を続けていく必要がある。

なお、芸術会館及び歴史博物館は、博物館法の趣旨に基づき、他の博物館等との間で資料の相互貸借を行っているが、歴史博物館が行う資料の貸出しにおいて、資料館外貸出許可書に、「大分県立歴史博物館所蔵資料利用要綱」に定める「輸送及び貸出期間中一切の責任を負うこと」との記載がなかったので、今後は適正に処理する必要がある。

イ　その他の管理箇所

その他の13箇所が管理する監査対象美術工芸品19点のうち、平成20年度において活用実績がないものが２点10.5パーセントあった。他の17点は、常時展示されている銅像又は調度用の絵画である。

(ｱ) 活用実績がない美術工芸品

ａ　雇用･人材育成課

活用実績がなかったものは、昭和57年に策定した「ニューライフ大分計画」の基本理念が県民に認識されるよう昭和59年に県が制作を委託し、テレビ放映された啓発映画のフィルムで、今後の利用見込みがないものである。

このため、今後の県での保管の必要性を検討の上、適切に処理する必要がある。

ｂ　国東高等学校

活用実績がなかったものは、作者から寄附を受けた３点の絵画のうち１点であり、展示場所がないとして倉庫に保管されていたが、定期的に絵画を掛け替えるなどその活用に努める必要がある。

(ｲ) その他

監査を行った高等学校のうち９校には、平成元年度から10年度にかけ、ゆとりと特色のある教育環境の整備を目的とする文化的施設整備事業によって銅像及びモニュメント計10点（取得価格約7,820万円）が設置されているが、このうち８校では、これらについての広報がまったく行われていなかった。

このため、学校要覧への記載など様々な機会を通じて広報に努める必要がある。

(3) 美術工芸品の収集保管

芸術会館及び歴史博物館は、それぞれの収集方針に基づき、美術工芸品を収集し、その種類に応じて各館の収蔵庫において一定の温度や湿度（たとえば絵画であれば、温度は摂氏20度、湿度は60パーセント）を保ちながら保管している。

芸術会館及び歴史博物館ともに、収蔵庫には当分の間の収集に支障がない程度の余裕はあるとのことであったが、収蔵品は今後も増えていくと思われるので、将来的課題として、現収蔵庫の相互利用を、さらに、新たに収蔵庫を設置する場合には共同利用を、検討する必要がある。

３　動物

(1) 動物の管理及び利用

ア　管理体制

動物の出納に関しては、動物使用簿及び動物出納簿を備え必要な事項を記載しなければならないほか、その処分は物品不用決定調書及び物品売却調書によって行わなければならない。なお、生産製作品である動物については、生産製作品出納簿を備え必要な事項を記載しなければならないほか、その受入れの決定は生産製作品調書により行い、また、その処分は物品売却調書によって行わなければならない（規則第148条、第150条、第161条）。

畜産試験場中小家畜・環境担当では上記の動物出納簿、生産製作品出納簿及び生産製作品調書を、また、農業大学校では動物出納簿、生産製作品出納簿、生産製作品調書及び物品売却調書を、それぞれ規則第191条に規定する特別取扱いの承認を受けて一元化し、帳票作成に係る事務を簡素化している状況が見受けられた。

物品調達・管理システムの導入に伴って規則の規定を見直すに当たっては、こうした特別取扱いの状況を踏まえた上で、他の機関においても事務の簡素化が図られるよう考慮する必要がある。

イ　帳簿と現品の照合の実施

監査対象動物を飼養している８箇所すべてにおいて、年に１回以上、帳簿と現品の照合が実施されていた。

ウ　管理費用

監査対象動物のうち牛を飼養している６箇所における牛の管理費用に占める飼料代の割合は、おおむね70パーセント前後を占めている。平成13年ごろから配合飼料等の濃厚飼料の価格は上昇を続けており、特に19年以降は上昇が顕著である。

こうした中、多くの監査対象機関では、自給粗飼料の増産や品質改善による濃厚飼料の削減、契約方法の見直し、他の管理費用の節約、飼養頭数の削

減等の努力をしていたが、こうした努力がほとんどみられないものが、一部の高等学校で見受けられた。

高等学校の農業教育においては、生産及び経営に関する知識と技術を習得することが目標とされており、生徒の経営感覚を養うためにも、管理費用の削減について検討する必要がある。

［表－24］牛の飼養に係る管理費用の内訳　　（単位：千円、％）

区　分	飼料代			薬　代	その他	計
	濃厚飼料	粗飼料 その他	計			
18年度	40,064	8,286	48,350 (68.2)	6,596 (9.3)	15,903 (22.5)	70,849 (100.0)
19年度	43,019	8,335	51,354 (73.0)	4,940 (7.0)	14,046 (20.0)	70,340 (100.0)
20年度	48,300	7,319	55,619 (73.9)	5,490 (7.3)	14,122 (18.8)	75,231 (100.0)

(注)１　「薬代」は、畜産試験場における研究用を除く。
　　２　「その他」は、畜舎修繕料、牧草種肥料、消耗品費などである。

(2) 動物の処分

監査対象動物を飼養している８箇所における平成20年度の牛及び豚の処分頭数は、［表－25］のとおりである。

処分はおおむね適正に行われていたが、不用決定手続をとらないまま売却していたものが一部で見受けられたので、今後は適正に処理する必要がある。

［表－25］平成20年度における牛及び豚の処分状況

区分	売　却		病死等	
	頭数(頭)	売却収入(円)	頭数(頭)	処分費用(円)
牛	189	82,759,258	15	465,800
豚	26	819,414	4	54,600

(注)　売却収入の額は、売却手数料等を差し引いた額である。

(3) 動物飼養の成果の評価等

ア　評価

(ｱ) 種雄牛

畜産試験場が飼養する種雄牛は、次のような選抜の過程において、種雄牛としての能力の評価及び需要者である農家の評価を受けている。

なお、基幹種雄牛の数は、平成21年度までは15頭で、22年度以降は12頭とすることが既に決まっている。

①　指定交配

基幹種雄牛と県内の繁殖雌牛中で産肉能力育種価(注)が優秀で今後の家畜改良に有用であると評価されたものとの指定交配で生まれた雄子牛を「直接検定牛候補」とする。

(注)　「産肉能力育種価」とは、枝肉重量、一日あたり増体重、ロース芯面積、バラ厚、皮下脂肪厚及びＢＭＳ値について、それぞれ集団の平均値に比べどのくらい優れ又は劣るかを表すもの。

②　直接検定

①の直接検定牛候補の中から13頭(20年度は15頭)を買い上げて「直接検定牛」とし、その発育、体型、飼料の利用性、有用遺伝子の有無などを総合的に判定して、５頭程度を「候補種雄牛」として選抜する(20年度は７頭を選抜)。

③　現場後代検定

候補種雄牛は、種畜検査を経て、毎年度５頭（20年度までは６頭）ずつ、１頭につき35頭の雌牛と試験交配を行う。生まれた子牛のうち候補種雄牛１頭につき18頭（６頭は買い上げ、12頭は農家等に肥育してもらう。）を「現場後代検定牛」とし、その枝肉成績及び産肉能力育種価によって、候補種雄牛のうち２頭程度を「基幹種雄牛」に選抜する。

④　需要者の評価

種雄牛の最終的な評価は､農家の精液譲渡申込み数によってなされ、成績不振の基幹種雄牛は廃用される。なお、廃用の決定は、精液譲渡成績のみによって機械的に行うものではなく、将来の交配のための血統の保存の見地を踏まえた上で行われる。

(ｲ) 種雄豚・種雌豚

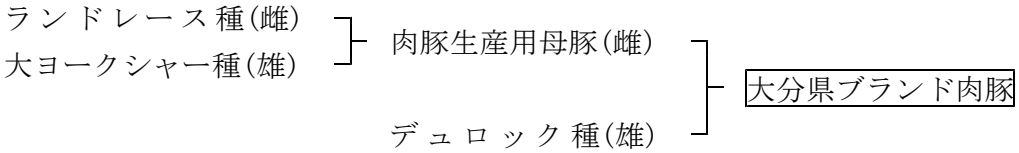
畜産試験場中小家畜担当では、大分県豚改良方針（平成18年６月改正）等に基づき、「大分県ブランド肉豚」の原種を維持するため、[表－26]のとおり種雄豚・種雌豚を飼養している。

これら種雄豚・種雌豚は、直接検定において種雄豚・種雌豚としての能力の評価を受けている。

[表－26] 平成20年度末における種雄豚・種雌豚の飼養頭数

ランドレース種		大ヨークシャー種		デュロック種		計	
種雄豚	種雌豚	種雄豚	種雌豚	種雄豚	種雌豚	種雄豚	種雌豚
12	42	6	10	9	10	27	62

(参考１) 大分県ブランド肉豚の造成



（参考２） 直接検定

１回の出産で生まれる10頭について、次のとおり行われる。

① 発育検査（生後40～45日）
10頭のうち４頭（雌雄各２頭）を選抜

② 発育及び体型検査（生後６月程度）
①の４頭のうち２頭（雌雄各１頭）を選抜

(ｳ) 試験研究用の動物

試験研究用の動物を管理している畜産試験場については、「農林水産部試験研究評価ガイドライン」等に基づく研究課題の評価により、動物飼養の成果が間接的に評価されていた。

イ 試験研究成果の活用

畜産試験場における試験研究成果の活用事例として、次の例などがあった。

（事例１）分娩予知通報システムの構築

畜産経営の大規模化に伴う問題を解決するため、分娩間近の牛を効率的に監視し、確実に分娩に立ち会うことのできる方法について産業科学技術センター及び民間会社と共同研究を行った結果、体温遠隔監視装置を用いた分娩予知通報システムが開発・製品化された。

九州農政局大分農政事務所の調べによると、平成19年５月から20年８月までの間に、全国12（うち県内３）の牧場で導入されている。同システムは、牛等の家畜体温の監視だけでなく、ビニールハウスなど温度監視が必要な他の場面での活用も期待されている。

（事例２）新地鶏「おおいた冠地どり」の作出

昭和62年度に作出した「豊のしゃも」に次ぐブランド地鶏の研究を平成16年度から始め、19年度に「おおいた冠地どり」を作出した。

「豊のしゃも」に比べて飼育期間が短いため低価格で供給でき、うまみ成分量（イノシン酸）が名古屋コーチンのおよそ２倍であるなど生産者や商社からも高評価を得ている。平成27年度までに20万羽（現行約４万羽）の年間出荷量を目指し、生産者や加工業者等とともに生産・流通の拡大に取り組んでいる。

（事例３）豚凍結精液技術の確立

平成19年度から行っている広島大学との共同研究で、実用化が難しかった凍結精液による豚の人工授精技術を確立した。この技術により、受胎率の向上による生産頭数の増加が期待されている。また、種雄豚頭数の削減が可能となり、経営の合理化も期待できる。

むすび

本年度の行政監査は、「高額設備等の活用状況について」をテーマとし、試験研究機器や美術工芸品などの高額設備等を管理する４９機関を対象として、これらが有効に活用されているか、県有財産として適正に管理されているかなどについて監査した。

監査の結果及び意見については、第４において述べたとおりであり、今回監査対象とした高額設備等については、おおむね適切な管理がなされていたが、遊休化したもの、利用が低調なもの、点検などの管理が適切でないもの、物品管理事務が不備なものなど改善又は検討を要するものが認められた。

地方公共団体は最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならないとされており、高額設備等は最大限有効に活用しなければならない。

また、本県においては、「中期行財政運営ビジョン」に喫緊に取り組むべき政策目標を掲げ、これを実現できる強靭な行財政基盤の構築に向けたさらなる改革に取り組んでいる。

このような状況を勘案すると、今後、高額設備等の取得、利用及び処分に当たっては、特に次の点に留意され、経済的、効率的かつ効果的に行われることが重要であると考える。

① 不用物品の活用を図るため、各所属の不用物品情報を一括して提示し、他の所属からの管理換え要望や、市町村、その他公共的団体等からの譲受希望を募る仕組みを検討すること。

② 不用物品及び使用不能物品の処分については、残存価値に留意し適時・適切に行うとともに、各所属の不用物品等を一括して棄却するなど、処分費用を軽減する方策を検討すること。

③ 現有機器等については、各所属間での相互利用を積極的に推進し、経費削減とさらなる有効活用を図ること。また、高額機器等の新たな導入に当たっては、幅広い用途に対応できる機器を導入し複数の所属の利用に供するなどの共同利用の仕組みを検討すること。

④ 美術工芸品について、市町村への貸付けを促進するなど、県民の鑑賞機会の拡充を図るとともに、ホームページでの情報提供の充実を図ること。

⑤ より適正かつ効率的に物品管理事務を行うため、実用的な物品管理事務処理マニュアルを作成すること。

なお、今回の監査対象とならなかった重要物品や備品についても、同様に改善又は検討を要するものが少なくないと考えられるので、この機会に再点検し、適切な措置を講じられるよう要望するものである。

最後に、本監査結果及び意見に十分留意の上、高額設備等が、各所属にとどまらず県全体の貴重な財産として、有効に活用されなければならないことを深く認識され、その有効活用などについて十分に検討されることを要望するものである。

平成２２年３月

大分県監査委員

参考資料:監査対象設備等一覧

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
1	1	医務課	1	蘇生訓練用生体シミュレーター	9,229,900	平成8年12月18日	8	通年貸付け
			2	化学災害用設備	6,850,700	平成13年3月30日	8	通年貸付け
			3	豊の国医療診断支援システム機器一式	63,860,000	平成8年5月20日	6	建物(平成8年築床面積180.29㎡)
			4	マルチメディア地域利用実験接続用機器一式	13,184,000	平成8年5月20日	6	
			5	テレビ会議システム（豊の国医療診断支援システム）	18,680,156	平成13年3月30日	6	
		管理箇所計	5点		111,804,756円			
2	2	健康対策課	1	特種用途自動車（胃がん検診車）	54,584,250	平成10年3月31日	18	通年貸付け
			2	特種用途自動車（胃がん検診車）	55,335,000	平成15年12月8日	18	通年貸付け
			3	特種用途自動車（新生児救急車）	28,350,000	平成17年3月22日	18	通年貸付け
			4	特種用途自動車（胃がん検診車）	55,650,000	平成21年2月5日	18	通年貸付け
			5	陰圧テント	13,093,500	平成19年3月30日	10	
		管理箇所計	5点		207,012,750円			
3	3	東部保健所	1	特種用途自動車（レントゲン車）	57,120,000	平成14年12月19日	18	
			2	Ｘ線ミラーカメラ	5,145,400	平成8年1月24日	5	
			3	Ｘ線直接・間接撮影装置	8,470,000	平成5年3月9日	6	
		管理箇所計	3点		70,735,400円			
4	4	中部保健所	1	Ｘ線間接撮影装置	8,003,100	平成14年2月22日	6	
			2	Ｘ線直接撮影装置	6,789,767	平成7年1月30日	6	
		管理箇所計	2点		14,792,867円			
		福祉保健部計	15点		404,345,773円			
5	5	廃棄物対策課	1	清掃船	94,760,000	平成4年11月6日	14	・固定起重機(工作物) ・通年貸付け
		管理箇所計	1点		94,760,000円			
6	6	防災危機管理課	1	エアーテント	7,321,000	平成7年8月30日	10	
			2	可搬式超小型衛星地球局装置	16,444,000	平成8年3月17日	9	
			3	デジタルコードレス電話システム	5,305,000	平成8年8月30日	10	
			4	防災情報システム一式	28,399,200	平成12年3月15日	9	
			5	ＭＳＥ型鉛蓄電池	12,600,000	平成16年10月29日	7～9	
			6	ＭＳＥ型鉛蓄電池	13,020,000	平成14年10月17日	7～9	
			7	ＭＳＥ型鉛蓄電池	33,526,500	平成12年9月29日	7～9	
			8	ＭＳＥ型鉛蓄電池	18,428,800	平成13年10月24日	7～9	
			9	ＭＳＥ型鉛蓄電池	14,175,000	平成15年8月27日	7～9	
			10	ＭＳＥ型鉛蓄電池	9,450,000	平成17年12月15日	7～9	
			借1	小型可搬衛星地球局	＊1,068,480	平成20年3月1日～平成30年2月28日	－	
			借2	県庁衛星設備映像システムデジタル機器一式	＊5,370,120	平成20年3月1日～平成28年3月31日	－	
		管理箇所計	12点		158,669,500円			
7	7	衛生環境研究センター	1	コンテナ（大気汚染監視システム用）	5,796,000	平成12年3月31日	7	
			2	電子顕微鏡	36,990,000	平成15年3月27日	8	
			3	クリプトスポリジウム等検査機器	6,553,000	平成10年9月1日	8	
			4	ガスクロマトグラフ質量分析装置	9,176,800	平成9年2月24日	5	
			5	ＩＣＰ質量分析装置	26,208,000	平成11年3月23日	7	
			6	高速液体クロマトグラフ質量分析装置	21,299,250	平成15年3月16日	5	
			7	イオンクロマトグラフ	6,735,750	平成15年3月20日	5	
			8	ＩＣＰ発光分光分析装置	11,791,500	平成15年12月15日	8	
			9	質量検出器（ＭＳ分析計）	11,980,500	平成17年2月1日	5	
			10	リアルタイムＰＣＲ装置	7,698,600	平成17年12月26日	5	
			11	ガスクロマトグラフ質量分析計	11,970,000	平成18年2月10日	5	
			12	ＶＯＣ分析用前処理装置一式	11,760,000	平成19年3月16日	5	
			13	ガスクロマトグラフ質量分析装置	11,025,000	平成19年3月29日	5	
			14	ガスクロマトグラフ質量分析装置	9,555,000	平成19年11月15日	5	
			15	ガスクロマトグラフ質量分析計	11,697,000	平成19年12月28日	5	
			16	ガスクロマトグラフ分析計	6,510,000	平成20年12月15日	5	
			17	ジェネティックアナライザ	18,699,450	平成20年12月25日	5	
			18	水分析用自動固相抽出装置	5,092,000	平成13年1月23日	5	
			19	超高速遠心機	6,994,000	昭和59年7月27日	10	
			20	バイオハザード対策システム	16,480,000	昭和63年3月28日	5	
			21	元素分析計	8,084,100	平成7年11月21日	5	
			22	高速液体クロマトグラフ	7,623,000	平成7年10月3日	7	
			23	水質自動分析装置	14,852,600	平成7年11月30日	5	
			24	フーリエ変換赤外分光光度計	8,639,400	平成10年2月20日	5	
			25	高速液体クロマトグラフ	6,476,100	平成10年1月29日	5	
			26	ガスクロマトグラフ質量分析計	15,562,800	平成12年2月10日	5	
			27	高分解能ガスクロマトグラフ質量分析装置	65,971,000	平成12年3月15日	5	
			28	ＤＮＡシークエンサー	8,977,500	平成14年3月19日	5	
			29	特種用途自動車（検査測定車（あおぞら））	5,948,500	平成16年3月17日	4	
		管理箇所計	29点		396,146,850円			

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
8	8	消費生活・男女共同参画プラザ	1	蛍光Ｘ線分析装置	8,899,200	平成9年3月28日	8	
			2	ＯＡ研修室パソコン	8,851,000	平成15年3月25日	5	
		管理箇所計	2点		17,750,200円			
9	9	食肉衛生検査所	1	ＢＳＥ検査設備一式	8,379,000	平成16年3月17日	5	
			2	高速液体クロマトグラフ	6,153,300	平成8年7月29日	5	
		管理箇所計	2点		14,532,300円			
生活環境部計			46点		681,858,850円			
10	10	雇用・人材育成課	1	電子看板システム	6,247,000	平成11年3月31日	5	
		管理箇所計	1点		6,247,000円			
11	11	産業科学技術センター	1	数値制御旋盤	29,245,400	昭和52年12月12日	7	
			2	拡散炉（小型拡散炉及びダクト）	17,141,660	昭和60年2月22日	7	
			3	マシニングセンター	17,715,000	昭和63年1月13日	7	
			4	ワックス射出成形機外	10,000,000	昭和63年2月20日	4	
			5	精密平面研削盤	9,496,000	平成元年12月25日	7	
			6	粉砕機一式	5,150,000	平成2年11月2日	7	
			7	ＣＯ２レーザー加工機	68,495,000	平成4年2月14日	7	
			8	焼成炉	10,197,000	平成5年3月19日	7	
			9	放電プラズマ焼結機	17,973,500	平成5年11月30日	7	
			10	ジグ中ぐりフライス盤	6,683,700	平成6年3月30日	7	
			11	ジグ研削盤	34,797,600	平成6年3月30日	7	
			12	高温高圧調理殺菌装置	8,557,800	平成6年3月30日	7	
			13	高周波誘導式真空溶解炉	28,644,300	平成7年2月8日	7	
			14	爆砕機・減加圧恒温処理装置	15,383,100	平成7年3月30日	7	平成21年9月14日棄却済
			15	小型超高速遠心機	5,983,500	平成7年3月3日	7	
			16	射出成形機	7,982,500	平成7年12月26日	7	
			17	メカニカルアロイング装置	6,333,600	平成8年3月29日	7	
			18	ディスクレファイナー	10,025,600	平成8年11月29日	7	
			19	粉末処理装置	8,191,300	平成12年9月29日	7	
			20	ＮＣ放電加工機	22,549,300	平成13年2月28日	7	
			21	移動ロボット実験装置一式	8,089,700	平成14年2月15日	4	
			22	スパッタリング装置	24,675,000	平成16年2月26日	7	
			23	混錬性・押出性試験装置	25,378,500	平成18年2月28日	4	
			24	高周波誘導電気炉	7,600,000	昭和53年11月16日	7	
			25	露光装置	5,080,000	昭和59年12月10日	4	
			26	スパッタリング装置	7,930,000	昭和61年2月24日	7	
			27	スペクトラムアナライザー	8,083,000	昭和61年3月7日	4	
			28	真空凍結乾燥機	6,880,000	昭和62年11月30日	7	
			29	万能試験機	6,100,000	昭和52年9月28日	4	
			30	高速液体クロマトグラフ	8,230,000	昭和54年11月30日	4	
			31	自記分光光度計	7,900,000	昭和61年1月20日	4	
			32	ポロシメーター	8,680,000	昭和61年2月28日	4	
			33	元素分析装置	6,107,900	平成2年12月14日	4	
			34	全自動窒素分析装置（微量全窒素分析装置）	6,695,000	平成3年11月30日	7	
			35	プレート殺菌装置	5,857,050	平成4年2月18日	4	
			36	コンクリート・モルタル等中性化促進試験装置	6,069,070	平成5年3月25日	4	
			37	蛍光Ｘ線分析装置	62,999,500	平成6年3月30日	4	
			38	素材表面形状解析システム	13,596,000	平成6年1月28日	4	
			39	三次元表面粗さ測定機	10,439,300	平成6年3月30日	4	
			40	動力測定装置	5,092,400	平成6年3月30日	4	
			41	表面性測定機	6,901,000	平成6年3月30日	4	
			42	超音波発振計測システム	7,498,400	平成6年3月30日	4	
			43	自動分取・二次元高速液体クロマトグラフシステム	12,337,340	平成6年3月30日	4	
			44	炭素・硫黄同時分析装置	16,474,000	平成5年12月10日	4	
			45	フレームレス原子吸光分析装置	7,585,500	平成6年3月30日	4	
			46	マイクロマニピュレータ	6,499,100	平成6年3月30日	4	
			47	雰囲気式高速昇温電気炉	8,240,000	平成7年2月14日	7	
			48	真円度測定機一式	9,966,000	平成7年2月10日	4	
			49	成膜装置	11,988,200	平成7年3月31日	7	
			50	高真空装置	11,988,200	平成7年3月31日	4	
			51	熱・流体解析システム	23,896,000	平成7年2月20日	4	
			52	分光器	6,916,450	平成7年3月8日	4	
			53	ＤＮＡ／ＲＮＡ抽出システム	12,237,500	平成7年3月30日	4	
			54	電気泳動解析システム	5,428,100	平成7年3月30日	4	平成21年9月14日棄却済
			55	センサー情報解析装置	12,899,720	平成7年2月2日	4	
			56	特性比較装置	6,094,900	平成7年12月15日	4	
			57	表面形状測定装置	18,787,200	平成7年12月25日	4	
			58	全自動アミノ酸分析装置	12,985,500	平成7年12月26日	4	
			59	膜厚計	7,340,400	平成8年1月26日	4	

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
11	11	産業科学技術センター	60	精密万能試験機	33,243,800	平成8年1月31日	4	
			61	摩擦磨耗試験装置	11,536,000	平成8年1月31日	4	
			62	ＤＮＡシーケンサー	16,274,000	平成8年1月31日	4	
			63	多機能型超高速遠心機	15,966,600	平成8年2月29日	7	
			64	真空反応装置	17,982,300	平成8年2月29日	7	
			65	味認識装置	8,062,900	平成8年2月29日	4	
			66	全自動バイオＨＰＬＣシステム	6,592,000	平成8年2月29日	4	
			67	塩乾湿複合サイクル試験機装置	16,502,202	平成8年3月21日	4	
			68	キャピラリーガスクロマトグラフ	12,772,000	平成8年3月22日	4	
			69	モアレトポクラフィー	5,253,000	平成8年3月27日	4	
			70	サーモグラフィー	8,246,180	平成8年3月29日	4	
			71	万能形状測定機	7,766,200	平成8年3月29日	4	
			72	イオンクロマトグラフ装置	8,805,500	平成9年2月14日	4	
			73	酵母・細菌同定システム	5,389,400	平成9年2月21日	4	
			74	光電子分光分析装置	66,000,031	平成9年3月28日	4	平成22年1月8日 棄却済
			75	デジタルオシロスコープ	5,476,800	平成9年8月25日	4	
			76	高温顕微鏡硬度計	24,225,600	平成9年10月31日	4	
			77	マスクアライナー	13,520,178	平成9年10月31日	7	
			78	走査型プローブ顕微鏡システム	15,141,000	平成9年11月28日	4	
			79	真空熱処理装置	10,706,900	平成10年1月28日	7	
			80	三次元計測実験装置	5,872,600	平成10年1月20日	4	
			81	微小部Ｘ線回析装置	15,357,300	平成10年3月31日	4	
			82	広角部Ｘ線回析装置	11,680,200	平成10年3月31日	4	
			83	電磁波遮蔽評価システム	5,372,900	平成9年10月8日	4	
			84	マイクロファイバースコープ	7,558,950	平成10年11月25日	4	
			85	高速加工機	48,234,900	平成11年3月11日	7	
			86	微量酵素精製システム	13,702,500	平成11年1月11日	4	
			87	プロテインシーケンサ	20,790,000	平成11年1月20日	4	
			88	たて型遠心機	6,825,000	平成11年2月5日	7	
			89	高圧ホモジナイザー	6,174,000	平成11年2月5日	7	
			90	真空凍結乾燥機	8,615,250	平成11年1月28日	7	
			91	キャピラリー電気泳動システム	9,870,000	平成11年1月11日	4	
			92	スパイラルシステム	5,607,000	平成11年2月2日	4	
			93	雰囲気調節電気炉	12,329,100	平成12年11月30日	7	
			94	精密加工動力計システム	6,813,500	平成12年12月1日	4	
			95	設計･製造プロセス合理化システム	29,073,000	平成13年2月15日	4	
			96	レーザードップラ振動計システム一式	6,456,600	平成14年1月31日	4	
			97	プラズマ発光分光分析装置	20,851,400	平成14年2月28日	4	
			98	ＣＮＣ三次元測定機	24,465,000	平成15年3月14日	4	
			99	表面粗さ測定機	11,340,000	平成16年2月27日	4	
			100	熱分解ガスクロマトグラフ質量分析装置	22,417,500	平成17年1月31日	4	
			101	熱分析装置	7,176,750	平成17年3月22日	4	
			102	レーザー回折式粒度分布測定装置	9,292,500	平成18年3月24日	4	
			103	近赤外分光分析装置	12,568,500	平成18年9月15日	4	
			104	赤外顕微鏡付分光分析装置	12,075,000	平成18年8月21日	4	
			105	測定顕微鏡	6,825,000	平成18年12月14日	4	
			106	高速液体クロマトグラフィー	6,927,900	平成19年3月28日	4	
			107	床置型精密万能試験機	5,113,500	平成19年12月28日	4	
			108	イオンクロマトグラフ	6,447,000	平成20年3月28日	4	
			109	エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置一式	5,964,000	平成20年12月4日	4	
			110	Ｘ線分析顕微鏡一式	12,579,000	平成20年12月12日	4	
			111	データ集録システム	7,873,000	昭和59年3月2日	4	
			112	赤外線撮影装置	5,068,700	平成2年12月10日	4	
			113	ＣＡＤ／ＣＡＭ／ＣＡＥシステム	40,891,000	平成5年1月18日	4	
			114	生物電子顕微鏡	13,261,300	平成6年3月30日	4	
			115	ワイヤー放電加工機	23,669,400	平成6年3月30日	7	平成22年1月8日 棄却済
			116	低温高温実験装置	8,136,000	平成6年3月30日	4	
			117	レーザーゼータ電位計一式	8,659,210	平成7年1月10日	4	
			118	高速度ビデオシステム	16,274,000	平成7年2月27日	4	
			119	構造解析用ソフト	6,180,000	平成7年2月10日	4	
			120	高速３次元表示装置	11,896,500	平成10年11月30日	4	
			121	ネットワーク端末	9,632,700	平成10年12月18日	4	
			122	概念設計支援システム	16,260,300	平成10年12月10日	4	
			123	透過型電子顕微鏡	19,997,000	平成11年11月19日	4	
			124	画像処理装置	28,473,800	平成11年11月19日	4	
			125	デザイン開発用コンピュータ	6,142,500	平成15年2月14日	4	
			126	電界放出形走査電子顕微鏡	51,870,000	平成16年3月15日	4	
			127	技術情報提供システム	14,889,000	平成16年1月30日	4	
			128	技術開発コラボレーションシステム	9,922,500	平成16年1月30日	4	

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
11	11	産業科学技術センター	129	構造解析システム	12,547,500	平成19年12月10日	4	
		管理箇所計	129点		1,793,574,641円			
12	12	工科短期大学校	1	数値制御旋盤	12,112,000	平成10年2月20日	10	
			2	マシニングセンター	20,656,000	平成10年2月20日	10	
			3	プリント基板製作装置	8,330,000	平成10年3月10日	5	
			4	普通旋盤	5,306,000	平成10年3月10日	10	
			5	普通旋盤	5,306,000	平成10年3月10日	10	
			6	普通旋盤	5,306,000	平成10年3月10日	10	
			7	普通旋盤	5,306,000	平成10年3月10日	10	
			8	普通旋盤	5,306,000	平成10年3月10日	10	
			9	普通旋盤	5,306,000	平成10年3月10日	10	
			10	立てフライス盤	5,865,000	平成10年3月10日	10	
			11	立てフライス盤	5,865,000	平成10年3月10日	10	
			12	立てフライス盤	5,865,000	平成10年3月10日	10	
			13	シーケンス制御実験装置	5,407,000	平成10年3月20日	5	
			14	シーケンス制御実験装置	5,407,000	平成10年3月20日	5	
			15	シーケンス制御実験装置	5,407,000	平成10年3月20日	5	
			16	油空圧制御実験装置	8,976,000	平成10年3月20日	5	
			17	油空圧制御実験装置	8,976,000	平成10年3月20日	5	
			18	油空圧制御実験装置	8,976,000	平成10年3月20日	5	
			19	プリント基板製作装置	7,885,000	平成10年11月20日	5	
			20	平面研削盤	5,250,000	平成10年12月4日	10	
			21	ワイヤ放電加工機	13,324,000	平成10年12月4日	10	
			22	立てフライス盤	6,342,000	平成10年12月16日	10	
			23	センサエ学実験装置	5,780,000	平成11年1月29日	5	
			24	サーボ機構実験装置	7,505,000	平成11年1月29日	5	
			25	運動特性伝達機構実習装置	10,141,000	平成11年1月29日	5	
			26	搬送機構実習装置	10,649,000	平成11年1月29日	5	
			27	ＦＭＳ実習装置	14,705,000	平成11年1月29日	5	
			28	通信実験装置	11,030,000	平成11年2月19日	5	
			29	地震シミュレーション装置	12,894,000	平成11年3月15日	5	
			30	自動レーザー加工機	20,506,000	平成11年3月19日	5	
			31	射出成形機	8,794,000	平成12年9月20日	5	
			32	産業用ロボット	7,324,000	平成12年9月28日	5	
			33	マシニングセンター	37,884,000	平成19年2月28日	10	
			34	プレス	20,842,500	平成18年11月10日	10	
			35	プリント基板製作装置	27,069,000	平成18年10月25日	5	
			36	射出成形機	31,972,500	平成19年12月5日	5	
			37	平面研削盤	9,817,500	平成20年1月16日	10	
			38	モデリングマシン	5,948,000	平成11年10月29日	5	
			39	自動計測実習装置	8,154,000	平成11年12月20日	5	
			40	多目的ロボット実習装置	11,788,000	平成11年12月20日	5	
			41	形彫り放電加工機	11,518,000	平成12年3月13日	10	
			42	３Ｄ入出力装置	6,678,000	平成17年12月20日	5	
			43	表面あらさ測定器	6,621,000	平成10年3月10日	5	
			44	真円度測定機	5,759,000	平成10年3月10日	5	
			45	万能材料試験機	9,761,000	平成10年3月10日	5	
			46	万能試験機	7,213,000	平成10年2月27日	5	
			47	精密積分騒音計	5,176,000	平成10年10月30日	5	
			48	Ｘ線分析装置	13,749,000	平成11年2月26日	5	
			49	機械加工試験機	8,641,000	平成11年3月19日	5	
			50	三次元測定機	23,782,500	平成20年10月15日	5	
			51	ネットワーク機器	26,355,000	平成16年8月16日	6	
			52	三次元ＣＡＤ、ＣＡＥ用ソフトウエア	51,240,000	平成11年3月19日	5	平成21年10月6日棄却済
			53	光造型装置	16,438,000	平成12年3月15日	5	
			54	多層基板製作装置	16,141,000	平成12年9月25日	5	
			55	走査電子顕微鏡	9,701,000	平成10年3月31日	8	
			56	図書管理システム	13,843,000	平成10年3月18日	5	
			57	学生管理システム	11,788,000	平成10年3月18日	5	平成21年10月6日棄却済
			58	在席管理システム	7,348,000	平成10年3月23日	5	
		管理箇所計	58点		681,035,000円			
13	13	大分高等技術専門校	1	動力運搬車	5,948,300	平成9年7月22日	－	
			2	熱風乾燥炉	5,150,000	昭和57年2月10日	15	
			3	動力シャー	5,768,000	昭和57年2月10日	15	
			4	プレス・ブレーキ	5,521,000	昭和60年11月11日	15	
			5	マシニングセンター	24,720,000	昭和62年3月9日	15	
			6	放電加工機	10,080,000	昭和62年3月9日	15	
			7	万能フライス盤	5,290,000	昭和62年3月11日	15	
			8	平面研削盤	6,760,000	昭和62年3月12日	15	

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
13	13	大分高等技術専門校	9	立てフライス盤	5,326,000	昭和62年11月16日	15	
			10	油圧プレス	6,345,000	平成4年1月16日	15	
			11	自動プログラム作成機	5,634,000	平成4年1月16日	5	
			12	ドリルセンター	10,453,000	平成6年12月16日	15	
			13	ＣＮＣ旋盤	11,310,000	平成6年12月16日	15	
			14	ＣＮＣ旋盤用ハンドリング	6,119,000	平成6年12月16日	15	
			15	自動倉庫ユニットシステム	17,767,500	平成8年1月10日	15	
			16	マシニングセンター	19,899,600	平成13年1月31日	15	
			17	ＣＮＣ旋盤	11,896,500	平成13年11月6日	15	
			18	ワイヤカット放電加工機	12,707,700	平成14年3月26日	15	
			19	立てフライス盤	6,116,250	平成15年11月21日	15	
			20	立てフライス盤	6,116,250	平成15年11月21日	15	
			21	三次元測定機一式	9,135,000	平成18年10月18日	5	
			22	パソコン一式	11,653,950	平成20年1月22日	5	
			23	マイコン開発支援装置	9,682,000	平成7年11月29日	5	
			24	パソコン一式	12,274,500	平成16年11月29日	5	
		管理箇所計	24点		231,673,550円			
14	14	佐伯高等技術専門校	1	マシニングセンター	20,476,000	平成5年2月15日	15	
			2	平面研削盤	7,268,000	平成5年2月15日	15	
			3	ＮＣ旋盤	9,973,000	平成5年2月15日	15	
			4	放電加工機	11,119,000	平成5年2月15日	15	
			5	万能フライス盤	5,555,000	平成5年2月15日	15	
			6	ワイヤカット	8,562,000	平成5年2月15日	15	
			7	立型フライス盤	5,232,400	平成9年2月4日	15	
			8	立てフライス盤	5,894,000	平成12年12月14日	15	
			9	自動プログラム作成機	5,039,300	平成6年12月16日	5	
		管理箇所計	9点		79,118,700円			
15	15	竹工芸・訓練支援センター	1	電動型昇降浴槽	8,382,000	平成2年3月26日	5	
			2	接触角測定装置	5,562,000	平成3年11月26日	5	
			3	万能試験機	11,532,000	平成7年3月24日	5	
		管理箇所計	3点		25,476,000円			
		商工労働部計	224点		2,817,124,891円			
16	16	農林水産研究センター豊後大野管理部	1	多用途限外濾過装置	5,093,000	平成4年12月3日	5	
			2	マイクロ波減圧乾燥装置	8,027,000	平成5年3月24日	5	
			3	真空フライヤー	10,500,000	平成5年3月24日	5	
			4	超高圧処理装置	9,814,000	平成5年3月25日	5	
			5	エクストルーダー	19,574,000	平成5年3月31日	5	
			6	近赤外分析計	10,769,000	平成5年3月25日	5	
		管理箇所計	6点		63,777,000円			
	17	農林水産研究センター野菜・茶業研究所	1	フローインジェクション	10,479,000	平成14年10月24日	5	
			2	茶成分分析計	5,515,700	平成11年5月31日	5	
			3	総合気象観測装置	11,354,600	平成11年10月29日	10	
		管理箇所計	3点		27,349,300円			
	18	農林水産研究センターきのこ研究所	1	デンシトメトリー装置	5,516,700	平成2年9月13日	8	
			2	高速液体クロマトグラフ	6,328,000	平成2年9月13日	8	
			3	走査線型電子顕微鏡	29,133,000	平成2年9月13日	8	
			4	パルスフィールド電気泳動装置	5,613,000	平成8年12月27日	8	
			5	超遠心機	5,974,000	平成8年12月27日	8	
			6	バイオイメージアナライザー	5,985,000	平成10年2月27日	8	
			7	ＤＮＡシーケンサー	12,873,000	平成10年2月27日	8	
		管理箇所計	7点		71,422,700円			
17	19	農林水産研究センター宇佐管理部	1	スピードスプレーヤ	6,151,100	平成8年10月31日	5	
			2	トラクター	5,248,600	平成13年2月26日	8	
		管理箇所計	2点		11,399,700円			
	20	農林水産研究センター安全農業研究所	1	電子顕微鏡	29,720,000	昭和63年4月28日	8	
			2	原子吸光分光光度計	7,451,600	平成11年10月28日	8	
			3	フローインジェクションシステム	9,450,000	平成14年11月26日	5	
			4	高速液体クロマトグラフアライアンスＰＤＡシステム	8,190,000	平成15年3月26日	5	
			借1	ガスクロマトグラフ質量分析計	＊4,006,800	平成20年4月1日～平成21年3月31日	－	
			借2	液体クロマトグラフ質量分析計		平成20年4月1日～平成21年3月31日	－	
		管理箇所計	6点		54,811,600円			
	21	農林水産研究センター水田農業研究所	1	大豆用コンバイン	5,197,500	平成14年11月14日	8	
			2	超遠心分離器	9,380,000	昭和63年10月24日	5	
			3	馴化室	5,490,000	昭和62年12月11日	5	
			4	近赤外分光分析装置	15,000,000	平成元年11月8日	5	
			5	ジャーファーメンター一式	7,204,000	平成4年11月30日	5	
			6	細胞融合装置一式	5,140,000	平成5年6月30日	5	
			7	アミログラフ一式	8,320,000	平成7年3月31日	5	
			8	ＤＮＡシーケンスシステム	10,490,600	平成10年7月30日	5	

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
17	21	農林水産研究センター水田農業研究所	9	フローサイトメトリーシステム	8,706,100	平成13年3月6日	8	
			10	フォーリングナンバー	6,195,000	平成17年9月29日	5	
			借1	大分県農業気象システム	＊5,062,680	平成18年4月1日～平成23年3月31日	－	
		管理箇所計	11点		81,123,200円			
18	22	農林水産研究センター果樹研究所	1	原子吸光分光光度計	6,005,000	平成4年8月12日	5	
			2	農業気象観測装置	9,625,400	平成11年8月31日	5	
			3	高速液体クロマトグラフ	7,308,000	平成15年12月10日	8	
			4	氷温ＣＡ試験装置	5,491,500	平成14年9月10日	5	
			5	人工気象室	12,360,000	平成5年11月12日	5	
		管理箇所計	5点		40,789,900円			
19	23	農林水産研究センター花き研究所	1	農業気象観測装置	7,980,000	平成15年9月2日	5	
		管理箇所計	1点		7,980,000円			
20	24	農林水産研究センター畜産試験場	1	アングルブルドーザー	6,077,000	昭和49年2月18日	7	
			2	高速液体クロマトグラフ	6,380,000	昭和63年12月27日	5	
			3	パイプラインミルカー	5,905,000	平成元年2月10日	5	
			4	近赤外分光分析計	15,033,000	平成6年11月30日	4	
			5	原子吸光分光分析装置	5,591,000	平成8年12月7日	4	
			6	コンプリートフィーダー	7,591,000	平成14年11月1日	10	
			7	普通貨物自動車	7,490,000	平成8年6月24日	7	
			8	普通貨物自動車	6,489,000	平成9年11月5日	7	
			9	大型特殊農耕用トラクター	6,510,700	平成10年7月27日	7	
			10	大型特殊農耕用トラクター	6,260,000	平成4年12月18日	7	
			11	大型特殊農耕用トラクター	5,000,000	昭和60年5月28日	7	
			12	大型特殊農耕用トラクター	6,980,800	平成7年5月31日	7	
			借1	肉用牛データ管理システム	＊1,911,420	平成18年6月1日～平成23年5月31日	－	
		管理箇所計	13点		85,307,500円			
	25	（中小家畜・環境担当）	1	豚糞発酵装置攪拌機	5,667,100	平成13年11月30日	8	
		管理箇所計	1点		5,667,100円			
21	26	農林水産研究センター林業試験場	1	送材車付帯鋸盤	12,227,000	昭和59年10月11日	8	
			2	木材乾燥装置	7,519,000	昭和59年10月11日	8	
			3	モルダー	7,364,500	平成7年11月20日	8	
			4	高周波プレス	18,025,000	平成8年2月1日	8	
			5	フィンガージョイント機械	18,292,800	平成8年2月2日	8	
			6	通直湾曲大断面集成治具	13,884,400	平成8年2月2日	8	
			7	木材引張試験機	10,614,150	平成8年2月2日	5	
			8	加圧減圧注入器	10,918,000	平成8年2月13日	8	
			9	ホットプレス	5,494,535	平成8年3月15日	8	
			10	グレーディングマシン	9,455,400	平成8年3月15日	8	
			11	高温蒸気式木材乾燥機	11,999,400	平成11年2月15日	8	
			12	走査電子顕微鏡	8,158,000	昭和59年10月11日	8	
			13	万能試験機	15,924,000	昭和59年10月11日	5	
		管理箇所計	13点		149,876,185円			
	27	（産業工芸試験所）	1	マイクロ波加熱装置	7,000,000	平成2年11月16日	10	
			2	圧密材製造治具	7,051,400	平成10年3月3日	10	
			3	ＣＣＭシステム	15,299,620	平成4年10月8日	10	
			4	万能材料試験機	10,612,400	平成7年3月22日	5	
			5	家具強度試験機	14,490,040	平成8年3月29日	5	
			6	家具強度試験機器	7,402,500	平成15年1月31日	5	
		管理箇所計	6点		61,855,960円			
22	28	農林水産研究センター水産試験場	1	熱水噴流式調理殺菌装置	8,538,000	平成5年12月24日	5	
			2	撹拌型造粒機	5,450,000	平成11年10月4日	10	通年貸付け
			3	超遠心機	5,770,000	平成7年10月20日	5	
			4	電子顕微鏡	11,800,000	昭和57年3月26日	5	
			5	水質測定システム	12,287,000	昭和52年1月28日	5	
			6	衛星航法装置	6,490,000	昭和53年4月14日	10	
			7	水中カメラ装置	5,789,000	昭和61年4月1日	3	
			8	オートアナライザー	14,899,500	平成20年8月8日	5	
			9	殺菌活水化装置	5,197,500	平成16年3月12日	8	
			10	気象衛星受信展示システム	8,196,000	平成4年2月24日	8	
			11	動力船（はまゆう）	5,888,000	平成3年10月31日	7	通年貸付け
		管理箇所計	11点		90,305,000円			
	29	農林水産研究センター水産試験場内水面研究所	1	恒温恒湿室	7,400,000	平成9年9月22日	5	
		管理箇所計	1点		7,400,000円			
23	30	農業大学校	1	トラクター	7,246,000	平成8年5月31日	8	
			2	穀物乾燥機(もみすりプラント)	5,681,000	平成3年9月25日	8	平成21年9月11日に一部棄却・重要物品から除外

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
23	30	農業大学校	3	穀物乾燥機	5,193,000	平成4年11月20日	8	
			4	厚生棟厨房機器一式	7,235,000	平成17年3月1日	15	
			5	液体クロマトグラフ	5,980,000	平成5年6月10日	8	
			6	教育用コンピューターシステム	14,530,000	平成13年9月20日	5	平成21年7月2日他所属に管理換え
		管理箇所計	6点		45,865,000円			
24	31	大分家畜保健衛生所	1	リアルタイムＰＣＲシステム	7,087,500	平成18年2月28日	5	
			2	高速液体クロマトグラフ	7,800,000	昭和60年2月15日	5	
			3	分離用超遠心機	12,998,570	平成8年3月26日	5	
			4	原子吸光光度計	5,841,150	平成10年3月27日	5	
			5	高速液体クロマトグラフ	5,892,100	平成12年1月31日	5	
		管理箇所計	5点		39,619,320円			
		農林水産部計	97点		844,549,465円			
25	32	土木建築企画課	1	鉄筋引張試験機	7,100,000	昭和59年8月10日	5	通年貸付け
			2	２０００ＫＮ圧縮、１０００ＫＮ万能二連式材料試験機	21,089,300	平成9年10月26日	5	通年貸付け
		管理箇所計	2点		28,189,300円			
		土木建築部計	2点		28,189,300円			
26	33	用度管財課	1	普通乗用自動車	9,980,540	平成21年2月25日	5	
			2	普通乗用自動車	5,824,350	平成12年5月9日	5	
			3	普通乗用自動車	10,811,800	平成10年2月25日	5	
			4	普通乗用自動車	8,554,500	平成8年7月26日	5	平成21年7月24日廃車済
			5	つちカエル	6,088,900	平成12年1月4日	10	
		管理箇所計	5点		41,260,090円			
		会計管理局計	5点		41,260,090円			
27	34	体育保健課	1	等速性筋力測定装置	18,601,800	平成13年10月22日	10	通年貸付け
			2	呼吸代謝測定装置	8,998,100	平成13年10月22日	10	通年貸付け
			3	トレッドミル	8,111,300	平成13年10月22日	10	通年貸付け
			4	障害馬術競技用具一式	6,784,680	平成19年8月16日	5	通年貸付け
			5	新体操競技用マット	10,973,000	平成16年7月15日	5	通年貸付け
		管理箇所計	5点		53,468,880円			
28	35	教育センター	1	マシニングセンター	42,620,000	平成3年3月30日	10	
			2	ＦＭＳ視覚センサー組立ロボット	20,157,000	平成6年3月25日	10	
			3	自動倉庫システム	25,853,000	平成6年8月8日	10	
			4	プラネタリウム（星座投映機）	7,956,000	昭和47年6月10日	10	
			5	情報ネットワークシステム	146,129,000	平成15年3月27日	10	
			6	県南情報通信ネットワーク	9,450,000	平成13年3月31日	6	
			借1	大分県教育センター情報機器システム	＊32,230,800	平成16年8月1日～平成21年7月31日	－	
			借2	大分県教育センター情報機器システムⅡ	＊10,214,820	平成17年10月1日～平成22年9月30	－	
			借3	電子計算機及びソフトウェア	＊1,970,640	平成16年4月1日～平成21年3月31日	－	
		管理箇所計	9点		252,165,000円			
29	36	芸術会館	1	テレビ	53,045,000	平成4年7月6日	5	
			2	ピアノ	9,350,000	昭和52年3月29日	5	
			3	ピアノ	8,487,000	平成4年3月31日	5	
			4	ピアノ	15,117,900	平成7年8月18日	5	
		管理箇所計	4点		85,999,900円			
30	37	総合体育館	1	バスケットゴール	6,683,700	平成2年7月10日	10	
			2	バスケットゴール	7,000,200	平成3年12月4日	10	
			3	大型電光掲示板	6,489,000	平成19年6月2日	8	
			4	平均台着地マット	6,489,000	平成19年6月2日	2	
			5	体操競技用ゆか	11,928,000	平成19年6月2日	3	
			6	体操競技用ゆか（２）	11,928,000	平成19年6月2日	3	
		管理箇所計	6点		50,517,900円			
31	38	歴史博物館	1	Ｘ線回折装置	7,921,000	昭和58年2月17日	10	
			2	走査型電子顕微鏡	22,928,000	平成10年9月30日	10	
			3	蛍光Ｘ線分析装置	35,582,000	平成11年1月29日	10	
			4	映像情報システム	152,704,000	平成10年9月5日	10	
		管理箇所計	4点		219,135,000円			
32	39	社会教育総合センター香々地青少年の家	1	プラネタリウム一式	195,700,000	平成5年3月31日	8	
		管理箇所計	1点		195,700,000円			
	40	社会教育総合センター九重青少年の家	1	プラネタリウム一式	87,009,200	昭和58年8月22日	8	
			2	天体望遠鏡	14,985,000	平成5年3月31日	15	
		管理箇所計	2点		101,994,200円			
33	41	国東高等学校	1	濃縮機	7,200,000	昭和55年12月20日	10	
			2	マシニングセンター一式	15,996,000	昭和62年3月31日	10	
			3	フライス盤	9,389,000	平成7年2月7日	10	
			4	ワイヤーカット放電加工機	9,082,800	平成8年8月30日	13	
			5	ＣＮＣ旋盤	8,165,400	平成14年3月11日	15	

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
33	41	国東高等学校	6	マシニングセンター制御用端末	5,985,000	平成19年2月28日	5	
			7	教育用コンピュータシステム	14,126,000	平成16年3月12日	5	
			8	教育用コンピュータシステム	9,683,000	平成17年3月25日	5	
			9	教育用コンピュータシステム	8,742,000	平成18年10月11日	5	
			10	ネットワーク実習装置	6,948,070	平成20年3月14日	5	
		管理箇所計	10点		95,317,270円			
34	42	山香農業高等学校	1	教育用コンピュータシステム	9,242,000	平成19年3月30日	6	
		管理箇所計	1点		9,242,000円			
35	43	大分工業高等学校	1	プラント運転実技実習装置	10,479,000	平成21年3月19日	10	
			2	フライス盤	6,772,500	平成18年3月24日	15	
			3	平面研削盤	5,318,250	平成15年2月17日	15	
			4	ＣＮＣドリル	8,489,800	平成10年12月28日	10	
			5	フライス盤	6,467,400	平成10年12月15日	10	
			6	トータルステーション	5,484,298	平成9年11月7日	6	
			7	自動設計加工実習装置	8,907,600	平成8年3月1日	15	
			8	溶解炉	17,691,000	平成6年3月31日	10	
			9	内燃機関性能試験装置	12,216,000	平成4年3月31日	8	
			10	排水処理装置	10,800,000	平成4年3月17日	7	
			11	数値制御工作機	12,885,000	昭和61年3月31日	15	
			12	万能材料試験機	9,922,500	平成16年3月26日	15	
			13	水理実験装置	8,778,000	平成15年3月31日	15	
			14	測量用ＧＰＳ装置	7,019,000	平成11年11月4日	10	
			15	空気調和装置	10,800,000	平成6年3月31日	15	
			16	水質測定装置	11,997,000	平成6年3月31日	5	
			17	引張り試験機	11,538,000	平成4年3月31日	5	
			18	万能材料試験機	6,700,000	平成4年2月13日	5	
			19	教育用コンピュータシステム	6,526,869	平成21年3月31日	6	
			20	教育用コンピュータシステム	13,182,000	平成17年3月25日	5	
			21	教育用コンピュータシステム	14,071,000	平成16年3月12日	5	
			22	模擬送電実習装置	5,212,900	平成14年3月18日	10	
			23	アテンプトボード電光表示機選手用タイマー付	5,250,000	平成19年8月11日	5	
		管理箇所計	23点		216,508,117円			
36	44	鶴崎工業高等学校	1	数値制御工作機	16,087,410	平成2年3月30日	15	
			2	ロボット（ＮＣフライス盤）	6,090,000	平成3年3月30日	10	
			3	廃液処理装置	11,766,000	平成7年2月28日	7	
			4	立てフライス盤	5,427,000	平成11年11月11日	13	
			5	円筒研削盤	5,267,000	平成14年3月20日	13	
			6	平面研削盤	5,318,000	平成15年3月24日	13	
			7	内燃機関性能試験機	6,789,800	平成9年3月28日	5	
			8	高電圧実験装置	5,137,200	平成11年2月26日	10	
			9	立型フライス盤	6,615,000	平成21年3月26日	10	
			10	操作プラント	5,850,000	昭和45年3月28日	10	
			11	反応プラント	9,000,000	昭和48年3月24日	10	
			12	走査電子顕微鏡	14,421,000	平成6年3月28日	8	
			13	光波測量装置	5,754,000	平成18年3月30日	8	
			14	教育用コンピュータシステム	14,132,000	平成16年3月12日	5	
			15	コンピュータ制御旋盤	7,508,000	平成17年3月16日	10	
			16	教育用コンピュータシステム	13,602,000	平成17年3月25日	5	
			17	トータルデザインシステム	5,702,623	平成20年3月14日	6	
			18	ネットワーク実習システム	6,450,000	平成21年3月26日	5	
			19	教育用コンピュータシステム	6,516,000	平成21年3月26日	5	
			20	語学演習機	9,000,000	平成2年3月31日	6	
		管理箇所計	20点		166,433,033円			
37	45	海洋科学高等学校	1	漁船（海幸丸）	157,384,000	平成6年2月10日	7	
			2	カッター	5,295,000	昭和60年3月30日	7	
			3	カッター	5,295,000	昭和61年3月31日	7	
			4	カッター	5,295,000	昭和62年3月31日	7	
			5	フライス盤	5,856,400	平成12年12月11日	10	
			6	飼育水槽	10,185,000	平成16年3月25日	15	
			7	ディーゼル発電機	6,600,000	昭和54年1月29日	10	
			8	ディーゼル発電機	6,600,000	昭和54年1月29日	10	
			9	高温高圧調理殺菌試験機	13,080,000	平成5年3月30日	5	
			10	船用水管ボイラー装置	9,282,000	平成7年1月24日	15	
			11	自動真空巻締機一式	8,205,000	平成9年3月11日	5	
			12	自動制御装置	6,201,000	昭和58年12月26日	10	
			13	船位計測装置	19,451,000	平成6年12月22日	5	
			14	海上位置装置	10,587,000	平成6年12月22日	5	
			15	冷凍冷房性能実験装置	5,803,000	平成7年1月24日	5	
			16	平面回流装置	5,092,000	平成7年1月25日	5	
			17	万能圧縮試験機	12,200,000	平成7年2月28日	5	

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
37	45	海洋科学高等学校	18	レーダーシュミレーター	30,336,000	平成12年3月10日	10	
			19	教育用コンピュータシステム	9,692,000	平成18年3月28日	5	
			20	船内ＬＡＮシステム	6,027,000	平成19年3月30日	5	
			21	冷凍冷蔵庫	7,949,000	平成10年3月30日	6	
		管理箇所計	21点		346,415,400円			
38	46	佐伯鶴岡高等学校	1	ＣＡＭシステム（自動プログラミング）	10,274,300	平成14年2月28日	6	
			2	ＦＡ制御用コンピュータ	12,075,000	平成18年3月30日	6	
			3	平面研削盤	6,451,000	平成4年3月31日	7	
			4	立てフライス盤	5,432,000	平成4年3月31日	7	
			5	自動制御工作機械一式	42,000,000	平成4年9月30日	10	
			6	放電加工機（ワイヤカット放電加工機）	11,433,000	平成6年3月18日	13	
			7	自動倉庫	15,900,000	平成7年3月27日	5	
			8	立てフライス盤	5,634,000	平成7年11月15日	7	
			9	測量用ＧＰＳ装置	6,240,300	平成12年12月8日	6	
			10	教育用コンピュータシステム	13,043,665	平成17年3月25日	6	
			11	ＰＯＳシステム	5,985,000	平成15年3月10日	6	
		管理箇所計	11点		134,468,265円			
39	47	三重総合高等学校	1	教育用コンピュータ	8,757,000	平成19年3月30日	6	
			2	教育用コンピュータ	8,773,000	平成19年3月30日	6	
			3	教育用コンピュータ	11,914,000	平成19年3月30日	6	
			4	教育用コンピュータ	15,720,000	平成19年3月30日	6	
		管理箇所計	4点		45,164,000円			
	48	（久住校）	1	教育用コンピュータ	9,241,482	平成19年3月30日	6	
		管理箇所計	1点		9,241,482円			
40	49	玖珠農業高等学校	1	普通乗合自動車	11,298,600	平成6年3月31日	6	
			2	普通貨物自動車（クレーン付）	9,975,000	平成15年3月31日	6	
			3	製茶装置	15,999,000	昭和62年3月24日	10	
			4	巻締機	7,511,200	平成6年3月25日	8	
			5	水理実験装置	6,895,300	平成11年2月25日	5	
			6	教育用コンピュータシステム	8,453,000	平成17年3月28日	6	
		管理箇所計	6点		60,132,100円			
41	50	日田林工高等学校	1	数値制御工作機	18,600,000	昭和63年3月28日	10	
			2	自動送材車	5,199,000	平成4年3月16日	8	
			3	ＮＣルーター	8,328,100	平成7年12月18日	8	
			4	ワイヤ放電加工機	8,273,500	平成11年2月25日	10	
			5	高周波プレス装置	9,463,200	平成14年1月28日	8	
			6	金属切削加工機	8,715,000	平成17年3月25日	10	
			7	食用菌培養空気調和装置	5,320,000	昭和55年3月21日	13	無菌培養室
			8	水理実験装置	11,613,000	昭和60年3月28日	10	
			9	万能材料試験機	11,382,000	平成4年3月23日	5	
			10	自動化機構実習装置	8,784,300	平成8年2月5日	6	
			11	測量用ＧＰＳ装置	6,300,000	平成15年2月3日	6	
			12	万能材料試験機	9,744,000	平成17年3月31日	5	
			13	メカトロ実習装置	6,195,700	平成5年11月30日	6	
			14	ＣＡＤ装置	38,700,000	平成6年3月31日	6	
			15	測量トータルステーションシステム	5,515,700	平成10年9月24日	6	
			16	測量トータルステーションシステム	6,543,100	平成11年11月15日	6	
			17	誘導電動機特性自動計測装置	5,077,700	平成12年1月21日	10	
			18	測量トータルステーションシステム	5,732,000	平成12年12月1日	6	
			19	空気圧制御実習装置	5,277,800	平成13年12月28日	8	
			20	空気調和実験装置	6,289,500	平成16年3月25日	8	
			21	教育用コンピュータシステム	11,968,700	平成18年3月24日	6	
			22	教育用コンピュータシステム	7,924,912	平成20年3月14日	5	
			23	教育用コンピュータシステム	5,450,611	平成21年3月31日	5	
			24	トレーニング機器一式	7,980,000	平成15年2月28日	8	
		管理箇所計	24点		224,377,823円			
42	51	中津工業高等学校	1	マシニングセンター	18,000,000	平成元年3月1日	15	
			2	真空高温炉	13,500,000	平成3年3月20日	15	
			3	放電加工機	11,433,000	平成6年3月18日	10	
			4	平面研削盤	7,193,000	平成7年2月17日	10	
			5	シャーリング	6,499,000	平成7年12月4日	10	
			6	水力実験装置	9,030,000	平成11年1月30日	13	
			7	蒸気原動機実験装置	12,437,000	平成14年3月14日	8	
			8	フライス盤	6,090,000	平成15年1月30日	10	
			9	シェルモールド装置	6,069,000	平成17年3月18日	13	
			10	万能材料試験機	11,500,000	平成5年2月24日	5	
			11	三軸圧縮試験装置	16,941,000	平成6年3月30日	5	
			12	走査顕微鏡	14,418,000	平成6年3月30日	8	
			13	元素定量分析装置	7,333,000	平成11年12月10日	8	
			14	測量用ＧＰＳ装置	6,272,000	平成12年12月20日	8	

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
42	51	中津工業高等学校	15	教育用コンピュータシステム	14,136,000	平成16年3月12日	5	
			16	教育用コンピュータシステム	13,224,000	平成17年3月25日	5	
			17	教育用コンピュータシステム	6,521,611	平成21年3月31日	5	
			18	測量トータルステーションシステム	7,252,000	平成5年12月3日	6	
		管理箇所計	18点		187,848,611円			
43	52	宇佐産業科学高等学校	1	普通自動車	9,725,000	平成2年3月29日	4	
			2	立てフライス盤	5,562,000	平成6年3月28日	10	
			3	ＦＭＳ実習装置	42,000,000	平成7年2月28日	10	
			4	温室パソコン通信装置	13,184,000	平成8年3月29日	10	
			5	ワイヤカット放電加工機	8,784,000	平成8年1月19日	10	
			6	水理実験装置	10,398,000	昭和59年3月29日	10	
			7	測量トータルステーションシステム	5,442,000	平成7年1月13日	7	
			8	万能材料試験機	6,152,000	平成7年12月26日	10	
			9	教育用コンピュータシステム	8,137,500	平成16年3月12日	5	
			10	教育用コンピュータシステム	13,342,287	平成16年3月12日	5	
			11	教育用コンピュータ	13,523,930	平成19年3月30日	5	
			12	電子計算組織	25,000,000	平成8年1月31日	10	
			13	教育用コンピュータシステム	6,511,111	平成21年3月31日	5	
		管理箇所計	13点		167,761,828円			
		教育委員会計	183点		2,621,890,809円			
44	53	科学捜査研究所	借1	覚せい剤専用ガスクロマトグラフ質量分析装置	＊2,150,820	平成20年4月1日～平成21年3月31日	－	
			借2	Ｘ線マイクロアナライザー装置	＊5,783,400	平成20年4月1日～平成21年3月31日	－	
			借3	ミクロカラー測定検索システム	＊1,457,820	平成20年4月1日～平成21年3月31日	－	
			借4	微量薬物分析装置	＊5,846,400	平成20年4月1日～平成21年3月31日	－	
			借5	ビデオ画像・音声鮮明化システム	＊3,591,000	平成20年4月1日～平成21年3月31日	－	
			借6	揮発性物質全自動分析装置	＊2,174,760	平成19年8月1日～平成25年7月31日	－	
		管理箇所計	6点		0円			
45	54	交通指導課	1	速度違反自動取締装置	15,279,000	平成5年3月30日	10	平成21年12月14日棄却済
			2	交通事故自動見分システム	5,460,000	平成20年8月18日	10	
			借1	放置駐車違反管理システム用機器	＊14,269,500	平成18年3月1日～平成23年2月28日	－	
		管理箇所計	3点		20,739,000円			
46	55	大分中央警察署	1	移動検問車	5,817,000	平成7年3月6日	4	
			2	災害活動用車	6,751,500	平成18年9月14日	4	
			3	車両重量計測装置	6,259,400	平成3年7月15日	5	
		管理箇所計	3点		18,827,900円			
		警察本部計	12点		39,566,900円			
47	56	総務課	（電気事業会計）					
			（大野川発電所）					
			1	三重川取水門扉自動制御盤	5,410,449	平成4年12月1日	57	
			2	百枝ダム制水門開閉機	18,750,000	平成10年3月3日	45	
			3	上部水槽除塵機	45,324,205	平成14年12月24日	22	
			4	水車	280,934,839	昭和28年1月1日	22	
			5	調速機	6,305,115	平成3年2月8日	22	
			6	水位調整機（応水水調盤）	9,515,422	平成3年2月8日	22	
			7	油圧装置	8,411,277	平成3年2月8日	22	
			8	弱点ピン折損警報装置	12,200,000	平成10年2月23日	22	
			9	発電機	178,357,273	昭和28年1月1日	22	
			10	励磁機（ＡＶＲ盤）	30,491,294	平成3年2月8日	22	
			11	主要変圧器	47,927,816	昭和28年1月1日	22	
			12	配電盤開閉装置	139,547,557	昭和28年1月1日	22	
			13	配電盤（継電器盤）	12,005,060	平成3年2月8日	22	
			14	配電盤（伝送装置）	38,690,415	平成3年2月8日	22	
			15	装甲開閉装置（高圧閉鎖盤）	66,791,137	平成3年2月8日	22	
			16	遠隔測定装置	32,760,472	平成5年12月21日	22	
			17	屋外手動断路器	5,062,331	平成18年3月27日	22	
			18	屋外計器用変圧器	5,956,315	平成18年1月30日	22	
			19	自動制御装置	21,493,316	昭和49年3月27日	22	
			20	随時監視制御装置	10,511,609	平成6年3月15日	22	
			21	百枝ダム監視制御装置	7,630,950	平成14年2月8日	22	
			22	屋外鉄構	9,703,667	昭和28年1月1日	22	
			23	ＩＴＶ設置	5,051,550	平成19年3月19日	9	
			24	非常用予備発電装置	11,783,714	平成3年2月21日	22	
			25	火災．扉開警報装置	5,912,546	昭和60年3月6日	8	
			（芹川第一発電所及び芹川ダム）					
			26	芹川ダム ゲート電動機・現場操作盤	6,960,474	平成6年1月5日	57	
			27	芹川ダム諸量処理装置１	19,119,100	平成8年6月26日	22	Ｎｏ．28・71

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
47	56	総務課	28	芹川ダム諸量処理装置２	70,995,703	平成9年3月27日	22	
			29	洪水吐ゲート開度計	7,578,999	平成12年2月22日	22	
			30	ダム諸量処理データ配信装置	6,945,500	平成18年3月15日	9	
			31	１号ゲート巻上装置	50,029,782	平成20年3月19日	22	
			32	非常用予備発電機	10,802,250	平成21年3月18日	22	
			33	水車	159,752,923	昭和31年8月10日	22	
			34	発電機	164,865,520	昭和31年8月10日	22	
			35	主要変圧器	50,411,580	平成6年3月14日	22	
			36	配電盤開閉装置	171,780,800	昭和31年8月10日	22	
			37	光伝送多重端局装置	12,576,048	平成6年3月10日	9	
			38	遠隔常時監視装置	10,146,941	平成6年3月15日	22	
			39	随時監視制御装置	7,701,347	平成6年3月15日	22	
			40	屋外鉄構	7,027,481	平成6年3月14日	22	
			41	ＩＴＶ装置（芹川ダム）	5,400,000	平成21年3月18日	9	
			42	直流電源装置	11,832,464	平成12年12月8日	6	
			43	自動放流警報装置	108,036,809	平成10年3月24日	22	
			（芹川第二発電所）					
			44	自動除塵機	64,182,924	平成6年3月14日	57	
			45	洪水吐ゲート電動機	6,979,135	平成8年3月21日	57	
			46	逆調予備発電機	11,506,546	平成17年3月1日	22	
			47	水車	93,534,924	昭和33年12月30日	22	
			48	水車制御盤	8,513,247	平成10年3月4日	22	
			49	発電機	136,383,600	昭和33年12月30日	22	
			50	主要変圧器	50,533,214	平成6年3月14日	22	
			51	配電盤開閉装置	143,781,594	昭和33年12月30日	22	
			52	自動制御装置	28,054,550	昭和56年1月16日	22	
			53	光伝送多重端局装置	6,611,282	平成6年3月10日	9	
			54	遠隔常時監視装置	39,237,578	平成6年3月15日	9	
			55	遠隔常時監視装置	33,204,140	平成6年3月15日	22	
			56	水系制御装置	11,356,910	平成19年3月14日	9	
			57	通信電灯電力装置	8,135,042	昭和33年12月30日	22	
			58	直流電源装置	11,365,918	平成8年11月29日	6	
			（芹川第三発電所）					
			59	自動除塵機	37,119,995	平成6年3月14日	57	
			60	水車	37,545,850	昭和39年1月28日	22	
			61	圧油・潤滑油装置	12,800,802	平成12年1月11日	22	
			62	水車制御盤	13,368,220	平成13年1月23日	22	
			63	発電機	20,556,890	昭和39年1月28日	22	
			64	主要変圧器	20,273,350	平成20年8月12日	22	
			65	配電盤開閉装置	43,067,268	昭和39年1月28日	22	
			66	随時監視制御装置	7,529,802	平成6年3月15日	22	
			67	通信電灯電力装置	7,323,332	昭和39年1月20日	22	
			68	今畑ポンプ場機械設備	30,220,086	平成6年3月8日	22	
			（北川発電所及び北川ダム）					
			69	桑原ダム遠方操作設備	5,754,424	平成9年3月7日	22	
			70	北川ダム ゲート電動機・遠方操作盤	10,605,266	平成5年2月25日	57	
			71	北川ダム諸量処理装置	71,288,290	平成10年3月24日	22	
			72	ダムゲート開度計５台	9,901,565	平成14年3月20日	17	
			73	ダム諸量処理装置	14,200,000	平成18年3月15日	9	
			74	ダム諸量データ配信	6,950,000	平成18年3月15日	9	
			75	ダムゲート現場操作盤	5,677,023	平成19年3月20日	22	
			76	水車	270,198,822	昭和37年8月9日	22	
			77	発電機	431,301,980	昭和37年8月9日	22	
			78	主要変圧器	124,774,144	昭和37年8月9日	22	
			79	配電盤開閉装置	73,329,680	昭和37年8月9日	22	
			80	ガス遮断器	7,178,000	昭和63年12月5日	22	
			81	遠隔測定装置	5,747,079	平成5年12月24日	22	
			82	配電盤	87,960,345	平成6年2月9日	22	
			83	配電盤開閉装置	117,779,169	平成7年3月8日	22	
			84	動力・電灯盤及直流盤他	10,488,621	平成13年2月27日	22	
			85	計器用変圧器	6,092,693	平成18年3月14日	22	
			86	遠隔常時監視装置	78,706,576	平成6年3月15日	22	
			87	随時監視制御装置	9,818,654	平成6年3月15日	22	
			88	水系制御装置	13,957,227	平成19年3月14日	9	
			89	屋外鉄構	15,236,189	昭和37年8月9日	22	
			90	通信電灯電力装置	20,806,298	昭和37年8月9日	22	
			91	桑原～北川ダム間通信線	10,186,546	平成2年8月23日	22	
			92	通信装置	10,979,354	平成3年1月24日	22	
			93	自動ストレーナー	14,635,058	平成7年3月8日	22	
			94	蓄電池	5,725,272	平成17年1月28日	6	

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
47	56	総務課	95	自動放流警報装置	197,770,887	平成11年2月12日	22	
			96	ダム地震計	6,453,062	平成10年3月20日	22	
			97	逆調整池ダム操作卓	6,740,039	平成9年2月12日	22	
			（下赤発電所）					
			98	ダムゲート開度計	6,444,227	平成18年2月22日	22	
			99	水車	27,875,638	昭和37年7月21日	22	
			100	調速機	22,867,848	平成2年3月2日	22	
			101	水車制御盤	7,539,919	平成2年3月2日	22	
			102	発電機	31,555,342	昭和37年7月21日	22	
			103	主要変圧器	9,607,374	昭和37年7月21日	22	
			104	補機制御盤	5,726,588	平成2年3月1日	22	
			105	主回路キュービクル等	40,529,836	平成2年3月2日	22	
			106	配電盤	55,439,804	平成6年2月9日	22	
			107	動力・電灯盤及直流盤他	9,064,561	平成13年2月27日	22	
			108	随時監視制御装置	11,093,630	平成6年3月15日	22	
			109	藤河内ダム遠方操作盤	6,239,971	平成14年3月11日	22	
			110	冷却用水装置ストレーナ	5,991,840	平成2年3月1日	22	
			（桑原発電所）					
			111	藤河内ダム予備発電装置	12,676,872	平成11年3月10日	22	
			112	水車	43,888,762	昭和35年12月31日	22	
			113	調速機	18,011,802	平成3年1月10日	22	
			114	発電機	65,554,182	昭和35年12月31日	22	
			115	主変圧器	8,656,940	平成8年3月13日	22	
			116	配電盤開閉装置	13,631,399	昭和35年12月31日	22	
			117	配電盤	49,722,743	平成6年2月10日	22	
			118	装甲開閉装置	25,564,904	平成8年3月13日	22	
			119	配電盤（所内低圧盤）	10,022,700	平成8年3月13日	22	
			120	随時監視制御装置	9,942,540	平成6年3月15日	22	
			121	藤河内ダム遠制中継装置	8,155,794	平成14年3月11日	22	
			（別府発電所）					
			122	除塵機	33,456,000	平成19年3月26日	22	
			123	内成かんがい用ポンプ	10,266,151	平成9年2月27日	17	
			124	内成高圧受電盤	5,353,669	平成11年3月30日	17	
			125	水車	34,580,516	昭和41年8月10日	22	
			126	調整機制御盤	9,650,805	平成8年3月31日	22	
			127	水車制御盤	8,637,737	平成8年3月11日	22	
			128	発電機	13,461,467	昭和41年8月10日	22	
			129	主変圧器	7,015,213	平成19年3月27日	22	
			130	配電盤	38,726,372	平成5年12月22日	22	
			131	送電盤	7,251,434	平成8年3月11日	22	
			132	並列遮断器盤	6,824,879	平成8年3月11日	22	
			133	コンデンサ遮断器盤	6,931,518	平成8年3月11日	22	
			134	随時監視制御装置	7,469,303	平成6年3月15日	22	
			135	小挟間詰所テレメータ盤	8,957,653	平成8年3月11日	9	
			136	水槽線	8,572,139	平成19年3月27日	22	
			137	自動／手動ストレーナー他	15,132,596	平成12年11月24日	22	
			（耶馬溪発電所）					
			138	水車	245,896,484	昭和59年6月20日	22	Ｎｏ.139～144
			139	発電機	102,717,203	昭和59年6月20日	22	
			140	主要変圧器	14,011,152	昭和59年6月20日	22	
			141	配電盤開閉装置	93,466,561	昭和59年6月20日	22	
			142	遠方制御補助盤	8,819,738	平成5年12月24日	22	
			143	随時監視制御装置	9,176,867	平成6年3月15日	22	
			144	超音波流量計	8,769,887	平成13年2月14日	17	
			（鳴子川発電所）					
			145	水車	206,856,592	昭和61年10月1日	22	
			146	発電機	75,878,119	昭和61年10月1日	22	
			147	主要変圧器	11,498,594	昭和61年10月1日	22	
			148	配電盤開閉装置	105,631,205	昭和61年10月1日	22	
			149	遠方制御補助盤	8,381,864	平成5年12月24日	22	
			150	随時監視制御装置	7,788,971	平成6年3月15日	22	
			151	通信電灯電力装置	36,219,420	昭和61年10月1日	22	
			152	蓄電池	5,750,000	平成16年2月19日	6	
			（花合野川発電所）					
			153	取水口ゲート制御盤	6,705,981	平成元年9月6日	22	Ｎｏ.154
			154	自動除じん機	9,663,221	平成元年9月6日	22	
			155	量水設備	5,233,364	平成元年9月6日	8	
			156	主要水車	40,325,514	平成元年9月6日	22	
			157	ランナー	6,359,832	平成元年9月6日	22	
			158	入口弁	11,379,077	平成元年9月6日	22	

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
47	56	総務課	159	調速機	9,813,545	平成元年9月6日	22	
			160	自動給水装置	5,638,415	平成元年9月6日	22	
			161	主要発電機	38,539,581	平成元年9月6日	22	
			162	並列遮断器盤	6,239,406	平成元年9月6日	22	
			163	コンデンサー遮断器盤	5,433,918	平成元年9月6日	22	
			164	送電遮断器盤	5,137,399	平成元年9月6日	22	
			165	遠隔監視盤	10,108,929	平成元年9月6日	22	
			166	遠方制御補助盤	7,944,479	平成5年12月24日	22	
			167	自動制御装置	9,021,701	平成18年2月6日	9	
			168	随時監視制御装置	8,026,513	平成6年3月15日	22	
			169	制御ケーブル	13,560,370	平成元年9月6日	22	
			170	整流器	5,122,302	平成元年9月6日	22	
			171	モノレールホイスト	7,710,643	平成元年9月6日	22	
			172	日報作成装置	8,462,734	平成元年9月6日	22	
			（阿蘇川発電所）					
			173	排砂ゲート	12,123,051	平成7年4月7日	45	Ｎｏ.174～176
			174	取水口 制水ゲート	7,666,965	平成7年4月7日	45	
			175	自動除塵機	22,302,760	平成7年4月7日	22	
			176	除塵機操作盤	13,288,779	平成7年4月7日	22	
			177	量水設備	6,852,725	平成7年4月7日	8	
			178	流量計	9,860,649	平成7年4月7日	17	
			179	主要水車	82,828,105	平成7年4月6日	22	
			180	ランナー	20,064,355	平成7年4月7日	22	
			181	吸出管	10,958,996	平成7年4月7日	22	
			182	入口弁	26,519,249	平成7年4月7日	22	
			183	調速機	7,783,090	平成7年4月7日	22	
			184	排水ポンプ	9,385,817	平成7年4月7日	22	
			185	主要発電機	74,141,825	平成7年4月7日	22	
			186	主要変圧器	12,422,850	平成7年4月7日	22	
			187	並列遮断器盤	6,542,982	平成7年4月7日	22	
			188	コンデンサー遮断器盤	6,766,649	平成7年4月7日	22	
			189	所内変圧器盤	5,617,163	平成7年4月7日	22	
			190	送電遮断器盤	5,822,620	平成7年4月7日	22	
			191	送電線断路器盤	6,154,787	平成7年4月7日	22	
			192	発電機盤	6,321,802	平成7年4月7日	22	
			193	保護継電器盤	9,812,182	平成7年4月7日	22	
			194	遠方監視制御装置盤	18,361,244	平成7年4月7日	22	
			195	補助継電器盤	9,818,959	平成7年4月7日	22	
			196	記録計盤	6,185,655	平成7年4月7日	22	
			197	自動制御盤	5,924,785	平成19年1月22日	9	
			198	蓄電池	14,178,079	平成7年4月7日	22	
			199	天井走行クレーン	18,670,545	平成7年4月7日	22	
			200	屋外デリッククレーン	6,843,526	平成7年4月7日	22	
			（総合制御所）					
			201	遠隔常時監視装置	101,430,353	平成6年3月15日	22	
			202	集中監視制御装置	254,864,186	平成19年3月14日	9	
			203	無停電電源装置	8,983,545	平成19年3月14日	6	
			（発電総合管理事務所）					
			204	電気設備	15,692,639	平成8年3月22日	15	
			205	表示盤	5,361,938	平成8年3月13日	22	
			206	データ通信端末装置	25,423,032	平成19年3月14日	9	
			207	移動１系無線電話	5,678,000	平成9年3月10日	9	
			（大野川送電線路）					
			208	現地表示型故障区間検出器	7,200,000	平成8年3月15日	22	
			（芹川送電線路）					
			209	故障区間検出器	7,700,000	平成11年2月17日	22	
			（工業用水道事業会計）					
			（大津留浄水場）					
			1	薬注設備	113,791,796	平成6年3月18日	15	
			2	配水管弁及びバイパス弁	76,734,457	平成5年3月24日	40	
			3	１・２号系調圧水槽入口弁	29,585,962	平成6年6月13日	60	
			4	中央操作装置	128,506,594	平成6年3月22日	20	
			5	監視制御装置	147,131,010	平成21年3月23日	16	
			6	沈澱池インバータ盤	12,997,909	平成6年3月22日	20	
			7	現場操作装置	258,412,704	平成6年3月22日	20	
			8	２号系制御盤	39,577,225	平成7年3月15日	20	
			9	２号系現場盤	32,455,442	平成7年3月15日	20	
			10	２号系分電盤	12,968,477	平成7年3月15日	20	
			11	２号系高圧盤	123,819,642	平成7年3月15日	20	
			12	非常用予備発電機	13,329,762	平成5年12月8日	20	

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
47	56	総務課	13	特高受変電設備	330,661,409	平成6年2月17日	20	
			14	東芝線流量計等装置	6,300,000	昭和59年3月31日	16	
			15	計量機器	22,258,004	平成6年3月22日	20	
			16	２号系計装盤	32,956,771	平成7年3月15日	20	
			17	水質計器Ⅱ	16,565,539	平成17年12月21日	15	Ｎｏ.14・60
			18	１号系配水ポンプ	169,477,889	平成6年3月11日	15	Ｎｏ.19
			19	２号系配水ポンプ	188,552,686	平成7年2月27日	15	
			20	排泥ポンプ	18,585,582	昭和49年4月1日	16	
			21	１号系沈澱池機械設備・弁	42,053,477	平成6年3月10日	17	
			22	２号系沈澱池機械設備・弁	53,622,983	平成7年3月6日	17	
			23	１号系余水池還元ポンプ	5,348,736	平成6年3月11日	15	
			24	２号系余水池還元ポンプ	8,662,909	平成7年2月17日	15	
			25	沈澱池内部設備	7,603,555	昭和40年4月1日	13	
			26	沈澱池機器	37,751,647	昭和44年2月1日	16	
			27	汚泥処理棟電灯電力装置	20,255,670	平成8年12月11日	15	
			28	汚泥処理監視操作盤	125,887,749	平成9年3月13日	16	Ｎｏ.29～31、74～76
			29	汚泥処理現場操作盤	183,152,200	平成9年3月13日	16	
			30	汚泥処理ＩＴＶ装置	5,433,853	平成9年3月13日	16	
			31	汚泥処理計量装置	27,550,682	平成9年3月13日	10	
			32	脱水機	686,706,337	平成9年3月13日	17	Ｎｏ.77
			33	汚泥処理ポンプ	25,398,361	平成9年3月13日	16	
			34	機器搬入用ホイスト	5,222,694	平成9年3月13日	17	
			（判田浄水場）					
			35	ＰＨ調整装置	20,711,510	平成12年3月23日	15	
			36	電気防食装置	73,959,702	平成21年3月17日	30	
			37	分水塔ゲート機械装置	9,896,068	平成10年2月16日	17	
			38	薬注設備	132,504,033	平成5年3月19日	15	
			39	三佐電動弁工事	23,584,000	平成18年3月27日	38	
			40	集中監視制御装置	610,261,419	平成7年3月15日	16	Ｎｏ.82
			41	浄水場２００ＶＣ／Ｃ	59,294,434	平成13年2月21日	16	
			42	現場操作盤	87,435,569	平成6年3月16日	20	
			43	沈澱池インバータ盤	24,411,824	平成6年3月18日	20	
			44	高圧ポンプ盤	236,596,430	平成9年12月22日	16	
			45	通信電灯電力装置	68,691,027	昭和49年3月31日	16	
			46	６６ＫＶ接地機構	13,347,608	平成7年3月15日	16	
			47	通信制御装置	27,809,001	平成7年3月15日	16	
			48	高圧遮断器盤	137,437,240	平成9年12月17日	16	
			49	非常用発電機配電盤	19,883,609	平成9年12月18日	16	
			50	高圧、低圧、直流盤	51,803,537	平成13年2月21日	16	
			51	特高受電設備	255,192,199	平成16年3月22日	16	
			52	ＩＴＶ設置工事	11,500,000	平成17年3月15日	9	
			53	取水口設備	11,170,222	平成7年3月15日	16	
			54	取水場設備	80,750,090	平成7年3月15日	16	
			55	受電・自家発電設備	8,639,247	平成7年3月15日	16	
			56	浄水場設備	51,094,134	平成7年3月15日	16	
			57	小池原接合井設備	12,475,275	平成7年3月15日	16	
			58	３号管流量測定所設備	12,759,783	平成7年3月15日	16	
			59	大津留補水流量計	13,179,509	平成7年3月15日	16	
			60	水質計器	10,791,067	平成15年12月8日	16	
			61	無停電電源装置	74,843,319	平成7年3月15日	16	
			62	ポンプ室　蓄電池	7,285,662	平成18年3月15日	6	
			63	取水ポンプ	200,394,086	昭和49年3月31日	16	
			64	揚水ポンプ止水弁	62,424,248	平成10年3月12日	16	
			65	補水分岐バイパス弁	14,400,000	平成11年3月8日	15	
			66	浄水機器	153,360,440	昭和49年3月31日	16	
			67	３号圧力水ポンプ	7,899,538	平成5年3月22日	15	
			68	沈澱池機械設備及び弁	135,019,323	平成6年3月11日	17	
			69	除塵機洗浄ポンプ３号	5,850,000	平成3年12月4日	20	
			70	除塵機集塵設備	15,000,000	平成4年2月6日	20	
			71	除塵設備	64,422,128	平成10年1月8日	17	
			72	汚泥処理棟電灯電力装置	21,415,360	平成8年3月28日	15	
			73	汚泥処理場分岐き電盤	7,559,737	平成8年2月13日	16	
			74	汚泥処理監視操作盤	134,166,492	平成8年8月28日	16	Ｎｏ.75・76
			75	汚泥処理現場操作盤	198,545,869	平成8年8月28日	16	
			76	汚泥処理計量装置	29,793,856	平成8年8月28日	10	
			77	脱水機	829,712,953	平成8年8月28日	17	
			78	汚泥処理ポンプ	26,939,304	平成8年8月28日	16	
			（三期事業）					
			79	家島電動弁	11,704,000	平成17年9月9日	38	
			80	須賀電動弁工事	18,125,000	平成18年3月15日	38	

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
47	56	総務課	81	松岡送水管電動バルブ	18,000,000	平成16年11月10日	20	
			82	監視制御設備	115,424,821	平成13年7月23日	16	
			83	受変電動力設備	56,240,924	平成13年7月23日	16	
			84	超音波流量計	10,348,078	平成13年7月23日	10	
			85	東陶線配水ポンプ	17,016,708	昭和60年1月1日	16	
			86	連絡施設送水ポンプ設備	131,192,365	平成13年7月23日	16	
			87	天井走行クレーン	9,231,918	平成13年7月23日	17	
		管理箇所計	296点		14,647,671,027円			
		企業局計	296点		14,647,671,027円			
48	57	県立病院	1	膀胱機能測定装置	5,200,000	昭和57年10月30日	6	
			2	ハバードタンク	7,750,000	平成4年3月25日	10	
			3	簡易層流無菌病室システム	6,874,000	平成4年3月25日	5	
			4	簡易層流無菌病室システム	6,874,000	平成4年3月25日	5	
			5	手術台（分離型）	8,578,000	平成4年3月25日	5	
			6	手術台（分離型）	5,745,000	平成4年3月25日	5	
			7	手術台（分離型）	6,555,000	平成4年3月25日	5	
			8	手術台（分離型）	5,897,000	平成4年3月25日	5	
			9	手術台（分離型）	5,782,000	平成4年3月25日	5	
			10	手術台（分離型）	6,043,000	平成4年3月25日	5	
			11	手術台（分離型）	6,271,000	平成4年3月25日	5	
			12	手術台（分離型）	5,603,000	平成4年3月25日	5	
			13	手術台（分離型）	5,026,000	平成4年3月25日	5	
			14	ホルマリン消毒器	12,000,000	平成4年3月25日	4	
			15	手術用顕微鏡（眼，耳鼻）	16,955,000	平成4年3月25日	8	
			16	手術用顕微鏡（脳外）	18,815,000	平成4年3月25日	8	
			17	自動洗浄乾燥装置	6,200,000	平成4年3月25日	5	
			18	カセッテレス断層撮影装置	19,786,000	平成4年3月25日	6	
			19	放射線モニタリングシステム	26,500,000	平成4年3月25日	5	
			20	カルテ管理システム（アクティブランナー）	20,900,000	平成4年3月25日	8	Ｎｏ.21～23
			21	カルテ管理システム（スタックランナー）	11,900,000	平成4年3月25日	15	
			22	カルテ管理システム（退院カルテ）	10,500,000	平成4年3月25日	15	
			23	カルテ管理システム（Ｘ線フィルム）	6,800,000	平成4年3月25日	15	
			24	モニター装置（手術室無影灯）	7,112,000	平成4年3月25日	6	
			25	モニター装置（手術室監視用）	10,276,000	平成4年3月25日	6	
			26	全身麻酔器	5,500,000	平成4年3月30日	5	
			27	Ｘ線撮影装置（一般，拡大）	11,500,000	平成4年5月27日	6	
			28	Ｘ線テレビ装置（泌尿，婦人）	19,000,000	平成4年5月27日	6	
			29	腔内治療システム	9,000,000	平成4年6月10日	6	Ｎｏ.30
			30	腔内治療用照準装置	17,765,200	平成4年6月10日	6	
			31	手術用顕微鏡（オフサラスＳＰ用）	9,700,000	平成4年6月25日	8	
			32	臓器標本用移動棚	10,995,000	平成4年6月25日	15	
			33	ウロダイナミックス	7,370,000	平成4年7月11日	6	
			34	ビデオミックス	5,090,000	平成4年7月11日	6	
			35	レーザー手術装置（ＣＯ２レーザー）	8,000,000	平成4年7月11日	5	
			36	レーザー手術装置（ヤグレーザー）	11,000,000	平成4年7月11日	5	
			37	全身麻酔器	5,500,000	平成4年7月11日	5	平成21年4月23日棄却済
			38	全身麻酔器	5,500,000	平成4年7月11日	5	
			39	全身麻酔器	5,500,000	平成4年7月11日	5	平成21年4月23日棄却済
			40	全身麻酔器	5,500,000	平成4年7月11日	5	平成21年4月23日棄却済
			41	移動棚（機械式）	11,800,000	平成4年7月11日	15	
			42	高圧蒸気滅菌装置（ハイスピード）	5,731,000	平成4年7月17日	5	Ｎｏ.43・135・157～159
			43	酸化エチレンガス滅菌装置	8,754,000	平成4年7月17日	5	
			44	カーテン、ブラインド	21,000,000	平成4年7月20日	3	
			45	自己血回収装置	6,500,000	平成4年7月23日	5	
			46	Ｅ．Ｏ．Ｇ．殺菌乾燥くん蒸装置	12,100,000	平成4年7月23日	5	
			47	システマ・ストッカー（回転式錠剤台）	5,000,000	平成4年7月30日	6	
			48	自動洗浄機	5,051,600	平成4年7月31日	5	
			49	蒸留水製造装置（軟水装置付）	8,920,000	平成4年7月31日	5	
			50	高圧蒸気滅菌装置（薬液用）	9,250,000	平成4年7月31日	5	
			51	ボトル滅菌機	5,350,000	平成4年7月31日	4	
			52	スーパーバルーンポンプ	15,200,000	平成4年8月11日	5	
			53	スーパーバルーンポンプ	10,800,000	平成4年11月26日	5	
			54	解剖台	10,600,000	平成5年10月30日	10	
			55	超音波白内障手術装置	15,350,000	平成7年5月12日	6	
			56	副鼻腔手術器械	5,650,000	平成7年10月6日	5	
			57	Ｘ線一般撮影装置	10,500,000	平成7年10月31日	6	
			58	マイダスレックスモーターシステム	6,750,000	平成7年12月22日	5	
			59	低温プラズマ滅菌器	13,835,000	平成8年11月29日	6	

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
48	57	県立病院	60	人工呼吸器	6,188,000	平成9年2月14日	5	平成21年7月24日廃却済
			61	麻酔器モニタリングシステム	8,250,000	平成9年2月19日	5	
			62	麻酔器モニタリングシステム	8,250,000	平成9年2月19日	5	
			63	ズームフォトスリットランプ	5,126,500	平成9年2月28日	8	
			64	胸部Ｘ線撮影装置	9,354,000	平成10年1月26日	6	
			65	耳音響反射検査装置	6,570,000	平成10年2月26日	6	
			66	硝子体手術システム	21,858,990	平成10年3月5日	5	
			67	冷凍手術装置	6,123,000	平成10年3月30日	5	
			68	鼻咽喉ビデオスコープ	8,478,000	平成11年1月29日	8	
			69	血液ガス分析装置	15,000,000	平成11年2月26日	4	
			70	腹腔鏡システム	7,650,000	平成11年3月4日	8	
			71	自動洗浄・除染・乾燥装置	8,380,000	平成11年3月4日	5	
			72	超音波診断装置	13,560,000	平成11年12月24日	6	
			73	体腔内超音波診断装置	7,000,000	平成12年3月1日	6	
			74	電気手術器	6,170,000	平成12年3月1日	5	
			75	エンドスコープカメラ	5,820,000	平成12年3月7日	8	
			76	マルチチャンネルドプラ血流測定装置	7,300,000	平成12年3月13日	6	
			77	超音波診断装置	5,300,000	平成13年1月12日	6	
			78	自動ｐＨ/血液ガス・電解質分析装置	6,000,000	平成13年1月26日	4	
			79	超音波診断装置	16,654,400	平成13年2月1日	6	
			80	ＥＶＩＳ耳鼻咽喉科ビデオスコープシステム	6,868,000	平成13年2月14日	8	
			81	腎臓検査セット	5,100,000	平成13年2月15日	6	
			82	手術顕微鏡	28,260,000	平成13年2月16日	8	
			83	超音波診断装置（アップグレード）	16,125,200	平成13年2月20日	6	
			84	超音波診断装置	8,300,000	平成13年2月21日	6	
			85	デジタルＸ線テレビシステム	31,400,000	平成13年2月23日	6	
			86	ガンマカメラシステム	114,000,000	平成13年2月26日	6	
			87	人工呼吸器	7,013,000	平成13年3月8日	5	
			88	全身麻酔装置	7,000,000	平成13年3月12日	5	
			89	眼科用ＹＡＧレーザー手術装置	7,565,305	平成13年3月14日	5	
			90	人工呼吸器	7,050,000	平成13年3月30日	5	
			91	超音波外科用吸引器	9,690,000	平成13年3月30日	5	
			92	密閉式自動固定包埋装置	5,760,000	平成13年3月30日	6	
			93	血液浄化装置	5,890,000	平成13年12月18日	4	
			94	全身用X線CT装置	63,500,000	平成14年2月27日	6	
			95	立位・座位兼用撮影台画像読取装置	20,200,000	平成14年3月11日	6	
			96	気管支・喉頭手術器械セット	8,050,000	平成14年3月14日	5	
			97	全身麻酔システム	8,900,000	平成14年3月14日	5	
			98	超音波診断装置	12,145,913	平成14年3月14日	6	
			99	人工呼吸器	5,100,000	平成14年3月19日	5	
			100	薬袋発行システム（オーダリングシステム連動）	7,300,000	平成14年10月21日	6	
			101	カルテ管理システム（コンピュータ）	8,620,000	平成14年10月30日	6	
			102	胸腔鏡ビデオシステム	6,000,000	平成14年11月29日	8	
			103	検体検査前処理システム	66,500,000	平成14年12月27日	6	
			104	自動採血管準備システム	10,297,000	平成14年12月27日	6	
			105	細胞自動解析装置	10,700,000	平成14年12月27日	6	
			106	Ｘ線撮影装置（外科用）	5,800,000	平成15年1月20日	6	
			107	超音波診断装置	5,100,000	平成15年3月14日	6	
			108	経皮的循環補助システム	7,207,530	平成15年3月14日	5	
			109	三次元放射線治療計画システム	19,500,000	平成15年3月14日	6	
			110	超音波診断装置	13,700,000	平成15年3月31日	6	
			111	人工呼吸器	6,370,000	平成15年6月13日	5	
			112	人工呼吸器	5,900,000	平成15年9月30日	5	
			113	超音波画像診断装置	6,000,000	平成15年9月30日	6	
			114	ＥＶＩＳ　ＬＵＣＥＲＡ内視鏡システム	11,630,000	平成15年9月30日	8	
			115	Ｃｏｏｌ－ｔｉｐ	5,000,000	平成16年1月13日	6	
			116	内視鏡システム（超音波内視鏡付）	12,924,000	平成16年11月12日	8	
			117	全身麻酔器	8,000,000	平成16年11月29日	5	
			118	リニアック	169,000,000	平成17年2月28日	6	
			119	レクセル定位脳手術装置	15,900,000	平成17年3月15日	5	
			120	人工呼吸器（新生児用）	5,700,000	平成17年3月31日	5	
			121	超音波診断装置（4D）	12,150,000	平成17年3月31日	6	
			122	マルチカラーレーザー光凝固装置	8,857,000	平成17年9月9日	5	
			123	内視鏡システム	11,059,000	平成17年9月21日	8	
			124	超音波ガイド下治療支援システム	15,000,000	平成17年9月27日	6	
			125	心臓超音波診断装置（カラー）	22,700,000	平成17年9月30日	6	
			126	レクセル定位脳手術支援システム	22,500,000	平成17年10月19日	5	
			127	心臓超音波診断装置（カラー）	21,970,000	平成17年10月29日	6	
			128	画像管理システム	6,900,000	平成18年1月24日	6	

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
48	57	県立病院	129	電子内視鏡システム	5,362,000	平成18年1月30日	8	
			130	超音波診断装置	8,500,000	平成18年1月31日	6	
			131	多人数透析液供給装置	15,900,000	平成18年2月10日	5	
			132	筋電計	5,700,000	平成18年2月27日	6	
			133	ＣＴシミュレーター	47,500,000	平成18年3月31日	6	
			134	デジタル脳波計	6,690,000	平成18年3月31日	6	
			135	酸化エチレンガス滅菌装置	9,000,000	平成18年3月31日	5	
			136	炭酸ガスレーザー装置	5,500,000	平成18年3月31日	5	
			137	全身用Ｘ線ＣＴ装置（６４列）	122,000,000	平成19年3月20日	6	
			138	レクセル定位脳手術支援システム	19,000,000	平成19年3月29日	5	
			139	耳鼻咽喉科ビデオスコープシステム	8,500,000	平成19年3月29日	8	
			140	耳鼻咽喉科ビデオスコープシステム	8,500,000	平成19年3月29日	8	
			141	乳房Ｘ線撮影装置	45,000,000	平成19年3月30日	6	
			142	人工呼吸器	6,477,000	平成19年3月30日	5	
			143	血液成分分離装置	9,980,000	平成19年3月30日	4	
			144	食器洗浄機	5,060,000	平成20年2月8日	5	
			145	連続炊飯システム	5,000,000	平成20年2月8日	5	
			146	厨芥処理システム	13,300,000	平成20年2月23日	5	
			147	超音波診断装置	6,000,000	平成20年2月29日	6	
			148	ポータブル超音波画像診断装置	7,794,000	平成20年2月29日	6	
			149	超音波診断装置	9,730,000	平成20年2月29日	6	
			150	ＤＰＣ請求対応システム	6,037,700	平成20年3月27日	6	
			151	ＤＭＡＴ向けパッケージ	7,300,000	平成20年3月31日	6	
			152	Ｘ線骨密度測定装置	9,980,000	平成20年3月31日	6	
			153	デジタル血管撮影システム	107,450,000	平成20年3月31日	6	
			154	手術腹腔鏡システム	6,700,000	平成20年3月31日	8	
			155	低温プラズマ滅菌装置	12,660,000	平成20年3月31日	6	
			156	全自動錠剤分包機	5,500,000	平成20年3月31日	6	
			157	高圧蒸気滅菌器	6,900,000	平成20年3月31日	6	
			158	高圧蒸気滅菌器	6,900,000	平成20年3月31日	6	
			159	高圧蒸気滅菌器	6,900,000	平成20年3月31日	6	
			160	医事・オーダリングシステム	15,545,130	平成20年4月1日	5	
			161	検査システム	6,631,460	平成20年4月1日	5	
			162	超電導ＭＲＩシステム	24,165,000	平成20年4月1日	5	
			163	多項目自動分析装置	5,530,875	平成20年4月1日	5	Ｎｏ.164
			164	多項目自動分析装置	5,530,875	平成20年4月1日	5	
			165	Ｘ線一般撮影装置	7,870,000	平成20年8月29日	6	
			166	眼底カメラシステム	6,200,000	平成20年9月12日	8	
			167	空気流動ベッド	6,050,000	平成20年9月26日	5	
			168	経皮的循環補助システム	5,500,000	平成20年10月8日	6	
			169	大動脈内バルーンポンプ	6,000,000	平成20年10月8日	5	
			170	手術顕微鏡	18,000,000	平成20年10月8日	8	
			171	３次元眼底像撮影装置	11,000,000	平成21年2月19日	8	
			172	テレビ会議システム	15,640,000	平成21年3月31日	5	
			173	バーチャルスライドシステム	12,500,000	平成21年3月31日	8	
			借1	循環器Ｘ線検査システム	＊29,912,400	平成20年4月1日～平成21年3月31日	－	
			借2	デジタルＸ線テレビシステム	＊5,124,420	平成20年4月1日～平成21年3月31日	－	
			借3	明室現像処理システム　ほか３点	＊26,858,160	平成20年4月1日～平成21年3月31日	－	
		管理箇所計	176点		2,353,222,678円			
49	58	三重病院	1	移動棚	7,283,000	昭和59年7月10日	15	
			2	サイベックスⅡ	8,900,000	昭和59年8月31日	10	
			3	人工呼吸器	5,500,000	平成5年3月24日	5	
			4	腹腔鏡	5,310,000	平成6年2月14日	8	
			5	運動負荷システム	6,180,000	平成6年2月28日	5	
			6	高圧蒸気滅菌装置	6,000,000	平成8年3月11日	5	
			7	酸化エチレンガス滅菌装置	5,500,000	平成8年3月11日	5	
			8	ビデオ内視鏡システム	6,650,000	平成9年7月24日	8	
			9	超音波手術システム	7,650,000	平成9年7月30日	5	
			10	超音波診断装置	6,700,000	平成9年9月1日	6	
			11	肺機能測定装置	6,070,000	平成9年9月5日	6	
			12	Ｘ線撮影装置	6,750,000	平成10年2月27日	6	
			13	全自動血液ガス分析装置	8,000,000	平成10年8月26日	5	
			14	一般撮影装置	5,780,000	平成10年11月6日	6	
			15	造影剤自動注入装置	5,600,000	平成11年8月31日	6	
			16	長時間心電図解析システム	21,000,000	平成13年2月28日	6	
			17	一般撮影装置	5,850,000	平成14年3月28日	6	
			18	麻酔装置	6,000,000	平成14年3月28日	5	
			19	血管連続撮影装置一式	267,500,000	平成10年3月30日	6	

（機械器具等）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	耐用年数（年）	備考
49	58	三重病院	20	アンギオ解析装置	8,700,000	平成15年3月17日	6	
			21	ＣＲシステム	5,000,000	平成15年3月17日	6	
			22	外科用Ｘ線装置	7,570,000	平成15年8月26日	6	
			23	採血管準備システム	5,000,000	平成15年11月19日	6	
			24	高圧蒸気滅菌器	8,100,000	平成17年3月31日	4	
			25	超音波診断装置	10,900,000	平成17年3月31日	6	
			26	麻酔器	5,500,000	平成18年3月9日	5	
			27	コンピュータＸ線断層診断システム	53,200,000	平成18年1月10日	6	
			28	Ｘ線テレビシステム	18,000,000	平成19年3月30日	6	
			29	磁気共鳴断層撮影装置	113,500,000	平成19年3月20日	6	
			30	内視鏡装置	7,356,800	平成20年3月31日	8	
			31	セントラルモニター	5,700,000	平成20年3月31日	6	
			32	腹腔鏡手術セット	6,100,000	平成21年3月23日	5	
			借1	医療事務・オーダリングシステム機器	＊16,174,130	平成20年4月1日～平成21年3月31日	－	
		管理箇所計	33点		652,849,800円			
		病院局計	209点		3,006,072,478円			
		合計	1089点		25,132,529,583円			

（注）1 「整理番号」が「借○」となっている機器は、借用物品であり、「取得価格又は評価額（円）」には年間賃借料額を、「取得年月日」には賃借期間を記載している。
2 「品目名称等」は、重要物品台帳等に記載されているものである。
3 「取得価格又は評価額（円）」については、企業局及び病院局の事業用資産に係るものは、消費税等相当額を含まない額である。また、各管理箇所計及び各部局等計は、借用物品に係る年間賃借料額を除いて集計している。
4 「備考」には、団体等に通年で貸付けているもの、当該機器等と関連する設備等、平成21年4月1日から22年1月31日までに棄却済などで管理箇所にないものを記載している。

（美術工芸品）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	備考
10	10	雇用・人材育成課	1	ドラマ「船出の合唱」	18,600,000	昭和59年12月19日	
		管理箇所計	1点		18,600,000円		
商工労働部計			1点		18,600,000円		
26	33	用度管財課	1	銅像「マリ」（朝倉響子）	15,000,000	平成7年3月10日	
		管理箇所計	1点		15,000,000円		
会計管理局計			1点		15,000,000円		
29	36	芸術会館	1	絵画（日本画）「鮎」（福田平八郎）	12,000,000	昭和52年6月25日	寄附
			2	絵画（日本画）「天保九如図」（田能村直入）	6,000,000	昭和52年7月1日	
			3	絵画（日本画）「豊後」（髙山辰雄）	5,000,000	昭和51年10月19日	寄附
			4	彫刻「三相」（朝倉文夫）	13,000,000	昭和52年9月21日	寄附
			5	絵画（洋画）「モラヴィアの装い」（中山忠彦）	5,000,000	昭和52年10月11日	寄附
			6	絵画（日本画）「母」（髙山辰雄）	20,000,000	昭和52年10月11日	寄附
			7	絵画（日本画）「気」（髙山辰雄）	20,000,000	昭和52年10月11日	寄附
			8	絵画（日本画）「幕(足)」（糸園和三郎）	10,000,000	昭和52年10月11日	寄附
			9	絵画（日本画）「幕(手)」（糸園和三郎）	10,000,000	昭和52年10月11日	寄附
			10	絵画（日本画）「千羽鶴」（前田青邨）	7,000,000	昭和53年1月4日	
			11	絵画（日本画）「安石榴」（福田平八郎）	7,500,000	昭和53年2月27日	
			12	絵画（日本画）「日月星辰(山)」（髙山辰雄）	36,500,000	昭和53年2月27日	
			13	絵画（洋画）「架」（糸園和三郎）	15,000,000	昭和53年3月2日	寄附
			14	絵画（日本画）「瀬戸内海」（髙山辰雄）	60,000,000	昭和53年3月2日	寄附
			15	絵画（日本画）「絶」（髙山辰雄）	20,000,000	昭和53年3月2日	寄附
			16	絵画（日本画）「浴室」（髙山辰雄）	10,000,000	昭和53年3月2日	寄附
			17	工芸「梟将」（生野祥雲斎）	7,000,000	昭和53年3月4日	
			18	彫刻「墓守」（朝倉文夫）	5,000,000	昭和53年4月10日	寄附
			19	彫刻「寝そべる裸婦」（木内　克）	6,500,000	昭和53年10月11日	
			20	絵画（日本画）「花菖蒲」（福田平八郎）	9,500,000	昭和53年10月21日	
			21	絵画（日本画）「仙経采薬図」（田能村竹田）	13,000,000	昭和53年11月1日	
			22	絵画（日本画）「細雨赴釣図」（田能村竹田）	12,000,000	昭和53年11月1日	
			23	絵画（洋画）「ながれ」（糸園和三郎）	10,800,000	昭和53年11月6日	
			24	絵画（洋画）「華厳」（宇治山哲平）	5,000,000	昭和53年11月9日	
			25	絵画（日本画）「海魚」（福田平八郎）	5,500,000	昭和53年11月27日	
			26	彫刻（木彫）「無矣無矣」（平櫛田中）	9,700,000	昭和54年5月18日	
			27	絵画（洋画）「鳥と青年」（糸園和三郎）	14,300,000	昭和54年5月18日	
			28	絵画（日本画）「草河豚・鰈」（福田平八郎）	18,000,000	昭和54年5月31日	
			29	絵画（洋画）「人間の壁」（佐藤　敬）	7,000,000	昭和54年10月18日	
			30	絵画（洋画）「二重空間」（佐藤　敬）	5,000,000	昭和54年10月18日	
			31	絵画（南画）「猿猴挂樹図」（田能村竹田）	11,000,000	昭和55年1月4日	
			32	絵画（日本画）「朝顔」（福田平八郎）	9,700,000	昭和55年2月7日	
			33	絵画（洋画）「ブランコの老人」（糸園和三郎）	9,000,000	昭和55年4月16日	
			34	彫刻（木彫）「流民」（豊福知徳）	10,400,000	昭和55年7月2日	
			35	絵画（日本画）「甘藍」（坂本繁二郎）	85,000,000	昭和56年3月20日	
			36	絵画（洋画）「睡眠化石」（佐藤　敬）	6,000,000	昭和56年4月15日	
			37	彫刻「椅子」（朝倉響子）	6,000,000	昭和56年7月3日	
			38	絵画（日本画）「鱶の鰭と甘鯛」（福田平八郎）	29,200,000	昭和56年9月24日	
			39	絵画（日本画）「竹」（福田平八郎）	23,000,000	昭和56年12月3日	
			40	絵画（洋画）「置」（山口長男）	7,000,000	昭和56年6月23日	
			41	絵画（洋画）「ヨコノ人の頭」（麻生三郎）	9,600,000	昭和57年4月15日	
			42	絵画（日本画）「游鯉」（福田平八郎）	30,000,000	昭和57年4月19日	
			43	絵画（日本画）「食べる」（髙山辰雄）	25,000,000	昭和57年6月3日	
			44	絵画（日本画）「雪庭」（福田平八郎）	16,000,000	昭和57年8月6日	
			45	絵画（洋画）「噴煙」（田村一男）	8,000,000	昭和58年3月30日	寄附
			46	絵画（日本画）「街のはずれ」（髙山辰雄）	25,000,000	昭和58年6月10日	
			47	絵画（日本画）「部屋の中」（髙山辰雄）	28,000,000	昭和58年12月7日	
			48	工芸「時代編盛籃」（生野祥雲斎）	7,000,000	昭和58年12月19日	
			49	絵画（浮世絵）「五人美人愛敬競 富本いつくみ」（喜多川歌麿）	6,120,000	昭和59年2月27日	
			50	絵画（洋画）「万華」（宇治山哲平）	6,000,000	昭和59年4月23日	
			51	絵画（日本画）「地」（髙山辰雄）	25,000,000	昭和59年9月21日	
			52	絵画（日本画）「樹下」（髙山辰雄）	20,000,000	昭和60年2月25日	
			53	絵画（日本画）「冬陽」（岩澤重夫）	10,000,000	昭和60年2月28日	
			54	絵画（日本画）「月」（髙山辰雄）	17,000,000	昭和60年3月4日	寄附
			55	絵画（日本画）「渓韻」（岩澤重夫）	10,000,000	昭和60年3月22日	寄附
			56	絵画（洋画）「鳥をとらえる女」（糸園和三郎）	6,000,000	昭和60年3月29日	
			57	絵画（日本画）「鴨」（福田平八郎）	33,000,000	昭和60年6月24日	
			58	絵画（日本画）「朱盆に桃」（福田平八郎）	22,000,000	昭和60年11月21日	
			59	絵画（日本画）「桃」（福田平八郎）	22,000,000	昭和60年12月2日	
			60	絵画（日本画）「午後」（髙山辰雄）	18,000,000	昭和60年12月24日	寄附
			61	絵画（洋画）「だるま船」（糸園和三郎）	6,500,000	昭和61年1月21日	
			62	絵画（日本画）「蛤」（福田平八郎）	23,000,000	昭和61年7月9日	
			63	絵画（日本画）「明星」（髙山辰雄）	48,000,000	昭和61年7月11日	

（美術工芸品）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	備考
29	36	芸術会館	64	絵画（日本画）「春の風」（福田平八郎）	5,000,000	昭和61年7月23日	寄附
			65	絵画（洋画）「やまとごころ」（宇治山哲平）	5,000,000	昭和61年8月26日	
			66	彫刻「横たわる人体」（ヘンリー・ムーア）	33,300,399	昭和62年8月7日	
			67	絵画（日本画）「樹間」（髙山辰雄）	30,000,000	昭和62年9月2日	寄附
			68	絵画（日本画）「はだか」（髙山辰雄）	20,000,000	昭和62年9月30日	
			69	絵画（日本画）「秋江独釣図」（高橋草坪）	5,000,000	昭和62年9月30日	
			70	絵画（日本画）「旅の薄暮」（髙山辰雄）	60,000,000	昭和62年12月28日	
			71	絵画（日本画）「流燈」（正井和行）	5,000,000	昭和63年2月27日	寄附
			72	絵画（洋画）「セリスト」（江藤純平）	6,000,000	昭和63年6月23日	
			73	絵画（洋画）「黒いカーディガン」（江藤純平）	5,000,000	昭和63年6月23日	
			74	絵画（洋画）「母子」（江藤純平）	5,000,000	昭和63年6月23日	
			75	絵画（洋画）「小豆島風景」（江藤純平）	5,000,000	昭和63年6月23日	
			76	絵画（洋画）「オリーブの丘」（江藤純平）	5,000,000	昭和63年6月23日	
			77	絵画（洋画）「オリーブと海」（江藤純平）	5,000,000	昭和63年6月23日	
			78	絵画（日本画）「緬羊」（福田平八郎）	20,000,000	昭和63年7月30日	
			79	絵画（洋画）「翔・旺・遥」（宇治山哲平）	13,000,000	昭和63年9月19日	寄附
			80	絵画（洋画）「宙」（宇治山哲平）	10,000,000	昭和63年9月19日	寄附
			81	絵画（洋画）「童」（宇治山哲平）	5,400,000	昭和63年9月19日	寄附
			82	絵画（洋画）「弾む」（宇治山哲平）	20,000,000	昭和63年9月19日	寄附
			83	絵画（洋画）「耀」（宇治山哲平）	6,000,000	昭和63年9月19日	寄附
			84	絵画（洋画）「古希自像」（宇治山哲平）	5,000,000	昭和63年9月19日	寄附
			85	絵画（洋画）「天華」（宇治山哲平）	6,000,000	昭和63年9月19日	寄附
			86	絵画（洋画）「阿吽」（宇治山哲平）	9,000,000	昭和63年9月19日	寄附
			87	絵画（洋画）「華厳」（宇治山哲平）	5,000,000	昭和63年9月19日	寄附
			88	絵画（洋画）「やまとごころ」（宇治山哲平）	5,000,000	昭和63年9月19日	寄附
			89	絵画（洋画）「王朝」（宇治山哲平）	9,000,000	昭和63年9月19日	寄附
			90	歴史資料「宇治山哲平資料」（宇治山哲平）	9,370,000	昭和63年9月19日	寄附
			91	絵画（日本画）「琴客観爆図」（田能村竹田）	30,000,000	昭和63年8月31日	
			92	彫刻「太陽のささやき」（飯田善国）	16,000,000	平成1年1月18日	
			93	彫刻「聖母子」（ブールデル）	38,000,000	平成1年8月17日	
			94	絵画（洋画）「母子像」（糸園和三郎）	5,500,000	平成1年8月21日	
			95	絵画（日本画）「山をゆく」（髙山辰雄）	20,000,000	平成2年3月23日	
			96	絵画（洋画）「高崎山」（梅原龍三郎）	96,820,000	平成2年3月31日	
			97	絵画（日本画）「沼」（髙山辰雄）	30,000,000	平成2年3月31日	寄附
			98	絵画（日本画）「街」（髙山辰雄）	50,000,000	平成2年3月31日	寄附
			99	絵画（日本画）「新雪」（福田平八郎）	28,840,000	平成2年3月31日	
			100	絵画（洋画）「紫の中」（荒井龍男）	5,000,000	平成2年5月23日	
			101	絵画（版画）「詩とリトグラフ」（パブロ・ピカソ）	5,800,000	平成2年9月25日	
			102	絵画（日本画）「嶂壁」（岩澤重夫）	10,000,000	平成2年10月24日	
			103	絵画（日本画）「砂丘」（岩澤重夫）	10,000,000	平成2年10月24日	
			104	絵画（日本画）「秋山負手行図」（高橋草坪）	35,000,000	平成2年10月30日	
			105	絵画（日本画）「硯海真景図」（田能村竹田）	11,330,000	平成3年1月24日	
			106	絵画（日本画）「月のある丘」（髙山辰雄）	50,000,000	平成3年3月29日	
			107	絵画（版画）「研鑽の書」（ウイリアム・ターナー）	59,000,000	平成3年3月29日	
			108	絵画（洋画）「アクロバット」（高橋　秀）	6,000,000	平成3年8月27日	
			109	絵画（日本画）「ひよ鳥」（福田平八郎）	15,450,000	平成3年12月13日	
			110	彫刻「脚を組んで・女」（佐藤忠良）	28,840,000	平成4年1月14日	
			111	工芸「櫛目編華籃悠然」（生野祥雲斎）	15,000,000	平成4年1月30日	
			112	絵画（日本画）「游鮎」（福田平八郎）	50,000,000	平成4年3月31日	
			113	絵画（日本画）「阿蘇」（箱崎睦昌）	6,000,000	平成4年5月20日	
			114	彫刻「犬の唄」（柳原義達）	17,000,000	平成4年5月20日	
			115	絵画（洋画）「裸婦立像(仮題)」（中村不折）	22,660,000	平成4年8月21日	
			116	絵画（洋画）「霞野或ハ野想（夾竹桃）」（荒井龍男）	5,000,000	平成5年3月15日	
			117	絵画（洋画）「人魚群像」（荒井龍男）	5,000,000	平成5年3月15日	
			118	絵画（日本画）「柿」（福田平八郎）	6,000,000	平成5年3月15日	
			119	絵画（日本画）「凍」（髙山辰雄）	50,000,000	平成5年3月19日	寄附
			120	絵画（日本画）「鯉」（福田平八郎）	106,090,000	平成5年3月31日	
			121	絵画（洋画）「信号のあるメンヒル(A)(B)」（佐藤　敬）	7,210,000	平成5年4月15日	
			122	絵画（洋画）「土塊」（糸園和三郎）	13,905,000	平成5年4月15日	
			123	絵画（日本画）「四季山水図」（平野五岳）	5,500,000	平成5年5月7日	
			124	絵画（洋画）「不詳」（佐藤　敬）	5,150,000	平成5年5月7日	
			125	歴史資料「素描（全４８１点）」（佐藤　敬）	6,000,000	平成5年7月1日	
			126	絵画（洋画）「洗濯」（保田善作）	5,000,000	平成5年9月24日	寄附
			127	絵画（日本画）「下絵９９点」（福田平八郎）	150,000,000	平成5年9月24日	寄附
			128	絵画（日本画）「街の中の小さい流れ」（髙山辰雄）	80,000,000	平成5年9月24日	寄附
			129	書画（絵画）「豊の国の朝」（髙山辰雄）	80,000,000	平成3年9月10日	寄附
			130	工芸「八稜櫛目編盛籃」（生野祥雲斎）	10,000,000	平成6年2月14日	
			131	工芸「したたれ編彷古花籃」（生野祥雲斎）	10,000,000	平成6年3月15日	
			132	絵画（日本画）「春の水」（福田平八郎）	67,980,000	平成6年3月31日	

（美術工芸品）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	備考
29	36	芸術会館	133	絵画（日本画）「初雪」（福田平八郎）	69,834,000	平成6年3月31日	
			134	絵画（日本画）「茄子」（福田平八郎）	50,000,000	平成6年3月31日	
			135	工芸「竹組波風呂先屏風」（生野祥雲斎）	12,000,000	平成6年4月15日	
			136	工芸「陽炎」（生野祥雲斎）	18,000,000	平成6年4月20日	
			137	絵画（日本画）「桃」（福田平八郎）	26,000,000	平成6年4月20日	
			138	彫刻「L'OMBRE」（オーギュスト・ロダン）	25,000,000	平成6年5月10日	
			139	絵画（日本画）「雲樹矮亭図」（田能村竹田）	8,755,000	平成6年8月29日	
			140	絵画（日本画）「幽渓詩客図」（貫名海屋）	6,500,000	平成6年11月30日	
			141	絵画（日本画）「董法山水図」（田能村竹田）	50,000,000	平成7年1月23日	寄附
			142	絵画（日本画）「向月台」（正井和行）	8,000,000	平成7年1月25日	寄附
			143	絵画（日本画）「いんこ」（髙山辰雄）	7,210,000	平成7年5月18日	
			144	絵画（日本画）「さるとかに（３４面）」（髙山辰雄）	9,785,000	平成7年5月18日	
			145	絵画（洋画）「照応」（李　禹煥）	5,000,000	平成7年6月16日	寄附
			146	歴史資料「写生帖他（７６点）」（福田平八郎）	50,000,000	平成7年6月16日	寄附
			147	絵画（日本画）「花卉図」（高橋草坪）	6,500,000	平成7年6月26日	
			148	絵画（洋画）「春夏秋冬（４点組）」（糸園和三郎）	20,000,000	平成7年6月30日	
			149	絵画（日本画）「山の音する」（髙山辰雄）	50,000,000	平成7年9月5日	
			150	絵画（日本画）「栄貴万年図」（田能村竹田）	50,000,000	平成7年9月5日	
			151	絵画（日本画）「梅花芙蓉図」（田能村竹田）	51,500,000	平成7年9月5日	
			152	絵画（日本画）「梅花宿鳥図」（田能村竹田）	50,000,000	平成7年9月5日	
			153	絵画（日本画）「花卉図」（高橋草坪）	5,400,000	平成7年10月9日	
			154	絵画（日本画）「雨」（髙山辰雄）	7,500,000	平成8年3月4日	寄附
			155	絵画（日本画）「朝」（髙山辰雄）	30,000,000	平成8年3月4日	寄附
			156	絵画（日本画）「縫う」（髙山辰雄）	70,000,000	平成8年3月4日	寄附
			157	工芸「吊華籃翔天」（生野祥雲斎）	5,400,000	平成8年3月4日	
			158	絵画（洋画）「湿地帯」（平野　遼）	5,150,000	平成8年6月14日	
			159	絵画（洋画）「馬」（糸園和三郎）	8,000,000	平成8年6月14日	
			160	絵画（洋画）「少女像」（林　武）	25,000,000	平成8年6月14日	
			161	絵画（日本画ほか）「花卉図襖」（高橋草坪）	7,000,000	平成8年6月14日	
			162	絵画（日本画）「双鶴」（福田平八郎）	13,390,000	平成8年6月14日	
			163	絵画（洋画）「手」（糸園和三郎）	6,000,000	平成8年7月10日	寄附
			164	絵画（日本画）「竹」（福田平八郎）	54,000,000	平成9年1月10日	
			165	絵画（日本画）「一軒の家」（髙山辰雄）	25,000,000	平成9年1月10日	
			166	絵画（日本画）「花菖蒲」（福田平八郎）	27,810,000	平成9年1月10日	
			167	絵画（日本画）「冬ゆく頃」（髙山辰雄）	25,000,000	平成9年1月10日	
			168	絵画（日本画）「山水図」（田能村竹田）	29,870,000	平成9年1月10日	
			169	絵画（洋画）「青衣」（中山忠彦）	40,000,000	平成9年1月10日	
			170	絵画（日本画）「トラックトレイラー」（髙山辰雄）	70,000,000	平成9年6月13日	寄附
			171	絵画（日本画）「別府湾」（髙山辰雄）	20,000,000	平成9年6月13日	寄附
			172	絵画（洋画）「丘の上の大樹」（糸園和三郎）	10,500,000	平成9年6月16日	
			173	絵画（洋画）「月の影；□○▽」（吉村益信）	7,000,000	平成9年6月16日	
			174	絵画（日本画）「蘆雁図」（田能村竹田）	24,000,000	平成9年7月15日	
			175	絵画（日本画）「尋山聯騎図」（田能村竹田）	24,000,000	平成9年7月22日	
			176	絵画（日本画ほか）「花卉図」（高橋草坪）	6,000,000	平成9年9月26日	
			177	絵画（日本画）「聴」（髙山辰雄）	20,200,000	平成9年12月5日	
			178	絵画（日本画）「花菖蒲」（福田平八郎）	49,440,000	平成10年3月16日	
			179	絵画（洋画）「耶馬渓晩秋」（片多徳郎）	11,000,000	平成10年5月15日	
			180	絵画（日本画）「白梅上鵟」（福田平八郎）	12,000,000	平成10年5月15日	
			181	絵画（洋画）「自像」（糸園和三郎）	5,775,000	平成10年6月12日	
			182	絵画（日本画）「花卉図」（高橋草坪）	6,400,000	平成10年6月12日	
			183	絵画（日本画）「高客聴琴図屏風」（田能村竹田）	69,000,000	平成11年3月26日	
			184	絵画（日本画）「花卉図」（高橋草坪）	7,700,000	平成11年5月19日	
			185	絵画（洋画）「川辺の鳥」（糸園和三郎）	8,400,000	平成11年5月19日	
			186	絵画（洋画）「すうぷにいる」（荒井龍男）	6,000,000	平成11年9月6日	
			187	絵画（日本画）「白梅」（福田平八郎）	38,000,000	平成12年3月27日	
			188	絵画（日本画）「松陰双鶴図」（田能村竹田）	28,000,000	平成12年3月27日	
			189	絵画（日本画）「福田家ｺﾚｸｼｮﾝ（１５点）」（福田平八郎）	25,000,000	平成12年3月27日	
			190	絵画（日本画）「夜の風景」（髙山辰雄）	25,000,000	平成12年3月27日	
			191	絵画（日本画）「花卉図」（高橋草坪）	7,000,000	平成12年5月1日	
			192	書跡・写生帳「写生帳（１９２点）」（福田平八郎）	192,000,000	平成12年5月19日	寄附
			193	絵画（日本画）「夕べ」（髙山辰雄）	15,000,000	平成12年7月14日	寄附
			194	絵画（日本画）「四月の頃」（髙山辰雄）	8,000,000	平成12年7月14日	寄附
			195	絵画（日本画）「友達」（髙山辰雄）	20,000,000	平成12年7月14日	寄附
			196	絵画（日本画）「たべる」（髙山辰雄）	18,000,000	平成12年7月14日	寄附
			197	絵画（日本画）「百合」（髙山辰雄）	12,000,000	平成12年7月14日	寄附
			198	絵画（日本画）「暁暗」（髙山辰雄）	15,000,000	平成12年7月14日	寄附
			199	絵画（日本画）「二匹の仔犬」（髙山辰雄）	13,000,000	平成12年7月14日	寄附
			200	絵画（日本画）「明ける池畔」（髙山辰雄）	12,000,000	平成12年7月14日	寄附
			201	絵画（日本画）「山響」（髙山辰雄）	20,000,000	平成12年7月14日	寄附

（美術工芸品）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	備考
29	36	芸術会館	202	絵画（日本画）「椿と静物」（高山辰雄）	12,000,000	平成12年7月14日	寄附
			203	絵画（日本画）「花と田園」（高山辰雄）	10,000,000	平成12年7月14日	寄附
			204	絵画（日本画）「鳩」（高山辰雄）	10,000,000	平成12年7月14日	寄附
			205	絵画（日本画）「一軒の家」（高山辰雄）	15,000,000	平成12年7月14日	寄附
			206	絵画（日本画）「二日の月と鳩」（高山辰雄）	25,000,000	平成13年3月1日	
			207	絵画（日本画）「花卉図」（高橋草坪）	7,800,000	平成13年6月29日	
			208	絵画（日本画）「山陰夜雪図」（田能村竹田）	42,000,000	平成14年3月27日	
			209	絵画（日本画）「牡丹はと」（高山辰雄）	20,000,000	平成7年9月4日	寄附
			210	絵画（日本画）「風の音」（高山辰雄）	50,000,000	平成16年2月20日	寄附
			211	書簡「紅梅図他7点」（牧野虎雄他）	6,900,000	平成16年2月20日	寄附
			212	絵画（洋画）「汐干」（國領經郎）	10,000,000	平成16年2月20日	寄附
			213	絵画（洋画）「寥寥」（國領經郎）	10,000,000	平成16年2月20日	寄附
			214	絵画（日本画）「桃他５点」（正井和行）	5,100,000	平成16年2月20日	寄附
			215	絵画「素描１件」（福田平八郎）	778,000,000	平成18年3月31日	
			216	絵画（素描下絵）「写生帳」（福田平八郎）	97,500,000	平成18年3月31日	
			217	絵画（洋画）「ターコイズブルー」（中山忠彦）	24,330,000	平成16年3月30日	
			218	陶板壁画「豊の国の朝下絵」（高山辰雄）	20,000,000	平成6年2月9日	寄附
			219	絵画（日本画）「浜の朝」（岩澤重夫）	20,000,000	平成20年3月24日	寄附
			220	絵画（洋画）「犬のいる風景」（糸園和三郎）	9,000,000	昭和58年3月31日	
		管理箇所計	220点		5,531,614,399円		
31	38	歴史博物館	1	宇佐神宮本殿模型	22,521,000	昭和55年3月28日	
			2	銅板法華経複製	11,200,000	昭和55年3月28日	
			3	太刀：豊後国行平	10,000,000	平成4年6月5日	
			4	富貴寺・阿弥陀如来像複製	8,000,000	昭和56年3月30日	
			5	遺跡分布地形模型	9,257,000	昭和56年3月31日	
			6	富貴寺大堂壁画模写	18,430,000	昭和56年3月27日	
			7	富貴寺大堂内部模型	150,089,000	昭和56年3月30日	
			8	岩戸寺国東塔複製	9,000,000	昭和56年9月17日	
			9	太郎天二童子立像複製	16,000,000	昭和56年9月17日	
			10	熊野磨崖仏大日如来複製	44,950,000	昭和56年10月6日	
			11	富貴寺模写壁画	14,769,000	昭和56年10月27日	
			12	富貴寺大堂壁画弥勒浄土図	8,500,000	昭和58年1月24日	
			13	富貴寺大堂壁画四仏浄土図模写	9,100,000	昭和58年3月31日	
			14	虚空蔵寺三重塔模型	17,501,000	昭和58年3月30日	
			15	木造不動明王立像	5,500,000	昭和60年3月20日	
			16	木造如来形立像	10,000,000	昭和60年3月22日	
			17	宇佐風土記の丘立体模型	12,747,000	昭和60年10月9日	
			18	瑠璃光寺阿弥陀如来立像複製	6,180,000	昭和61年1月13日	
			19	応永年間宇佐宮境内模型	28,846,000	昭和61年10月13日	
			20	紙本著色八幡縁起絵	7,500,000	昭和62年10月30日	
			21	宇佐市赤塚古墳出土鏡複製	5,600,000	昭和62年12月1日	
			22	蓮華寺木造千手観音立像複製	14,400,000	昭和63年11月30日	
			23	愚直師かん像	7,200,000	平成1年3月3日	
			24	地蔵菩薩坐像複製	5,820,000	平成2年3月16日	
			25	経筒（２口）	14,500,000	平成1年9月18日	
			26	宇佐宮寺御造営并・御再興日記目録（写本）	5,000,000	平成1年9月18日	
			27	百萬塔陀羅尼	10,000,000	平成2年12月14日	
			28	屋山長安寺地形模型	18,262,000	平成3年2月18日	
			29	伝日田出土銅戈（２口）	6,300,000	平成3年12月5日	
			30	鶴見七湯廼記（２帖）	6,000,000	平成3年11月29日	
			31	城文書（中世分）（５通）	5,400,000	平成3年11月29日	
			32	短刀：行平（１振）	5,000,000	平成4年3月27日	寄附
			33	広形銅鉾	5,600,000	平成4年6月25日	
			34	天永元年銘銅製経筒ほか一括	10,000,000	平成4年7月13日	
			35	木造薬師如来坐像	7,500,000	平成5年7月15日	
			36	蒙古襲来絵詞複製　下巻	5,150,000	平成6年2月14日	
			37	蒙古襲来絵詞複製　上巻	5,150,000	平成6年8月17日	
			38	八幡縁起絵（２巻）	5,400,000	平成6年8月19日	
			39	経塚出土遺物一括	7,500,000	平成6年8月31日	
			40	元重文書（一括）	15,000,000	平成7年1月25日	寄附
			41	伝日田出土銅戈（２口）	6,900,000	平成7年8月29日	
			42	木造阿弥陀如来座像	10,000,000	平成9年1月31日	
			43	稲葉家童具足（一式）	13,300,000	平成9年12月3日	
			44	綾本著色法華経絵（旧宇佐八幡神輿障子絵）四曲屏風	250,000,000	平成10年7月3日	
			45	上ノ原３５号横穴墓復元模型	16,718,000	平成10年9月5日	
			46	田染荘地形模型	24,369,000	平成10年9月5日	
			47	後藤家住宅模型	42,217,000	平成10年9月5日	
			48	瓦窯模型	30,438,000	平成10年9月5日	
			49	枌洞穴遺跡出土品複製	7,368,000	平成10年9月5日	

（美術工芸品）　　（平成21年3月31日現在）

機関番号	箇所番号	管理箇所	整理番号	品目名称等	取得価格又は評価額（円）	取得年月日	備考
31	38	歴史博物館	50	宇佐宮祭礼絵巻複製	7,112,000	平成10年9月5日	
			51	護聖寺板碑複製	6,421,000	平成10年9月5日	
			52	木造兜跋毘沙門天立像複製	27,522,000	平成10年9月5日	
			53	木造不動明王坐像複製	15,177,000	平成10年9月5日	
			54	臼杵ホキ石仏阿弥陀三尊像複製	39,716,000	平成10年9月5日	
			55	蓮城寺宝塔複製	12,510,000	平成10年9月5日	
			56	法泉庵宝きょう印塔複製	12,510,000	平成10年9月5日	
			57	的場石幢複製	7,192,000	平成10年9月5日	
			58	富貴寺大堂復元壁画	65,176,000	平成10年9月5日	
			59	富貴寺大堂阿弥陀如来坐像複製	19,454,000	平成10年9月5日	
			60	南蛮人図象がん鐙	10,000,000	平成10年10月6日	
			61	花卉蒔絵螺鈿洋櫃	5,000,000	平成13年1月17日	
			62	余瀬文書	65,000,000	平成13年3月23日	寄附
			63	春日宮曼荼羅図	8,500,000	平成14年2月28日	
			64	関東御教書	7,000,000	平成14年8月27日	
			65	成恒文書（１２８点）	39,150,000	平成18年8月25日	寄附
			66	瑞雲寺遺跡出土遺物（２１点）	7,300,000	平成18年8月25日	寄附
		管理箇所計	66点		1,340,922,000円		
33	41	国東高等学校	1	絵画（洋画）「湖北」（栗林忠男）	10,000,000	平成4年11月13日	寄附
			2	絵画（洋画）「湖北」（栗林忠男）	10,000,000	平成12年10月31日	寄附
			3	絵画（洋画）「南欧の陽ざし」（栗林忠男）	10,000,000	平成14年11月7日	寄附
		管理箇所計	3点		30,000,000円		
34	42	山香農業高等学校	1	銅像「雨が風になるとき」（辻畑隆子）	8,000,000	平成5年2月22日	
		管理箇所計	1点		8,000,000円		
35	43	大分工業高等学校	1	銅像「砲丸」（朝倉文夫）	12,399,900	平成4年2月17日	
		管理箇所計	1点		12,399,900円		
36	44	鶴崎工業高等学校	1	モニュメント「９０輪の翼」（田中信太郎）	8,500,000	平成8年11月7日	
		管理箇所計	1点		8,500,000円		
37	45	海洋科学高等学校	1	銅像「水の猛者」（朝倉文夫）	9,000,000	平成5年2月23日	
		管理箇所計	1点		9,000,000円		
38	46	佐伯鶴岡高等学校	1	銅像「∞風」（辻畑隆子）	8,000,000	平成6年11月17日	
		管理箇所計	1点		8,000,000円		
39	47	三重総合高等学校	1	彫刻「時 ― 遙か」（溝口晴美）	8,000,000	平成11年1月30日	
			2	銅像「飛翔」（佐脇健一）	5,000,000	平成2年3月22日	
			3	銅像「池見猛」像（作者不明）	9,205,000	平成16年3月16日	寄附
		管理箇所計	3点		22,205,000円		
40	49	玖珠農業高等学校	1	銅像「風丰（ふうぼう）」（辻畑隆子）	8,000,000	平成4年2月17日	
		管理箇所計	1点		8,000,000円		
42	51	中津工業高等学校	1	銅像「希望」（佐藤正八）	5,000,000	平成2年3月31日	
		管理箇所計	1点		5,000,000円		
43	52	宇佐産業科学高等学校	1	銅像「矜恃」（朝倉文夫）	8,700,000	平成8年1月18日	
			2	絵画（洋画）「断風景」（作者不明）	7,000,000	平成12年12月22日	寄附
		管理箇所計	2点		15,700,000円		
教育委員会計			301点		6,999,341,299円		
48	57	県立病院	1	絵画（洋画）「初秋」（江藤　哲）	5,000,000	昭和57年3月31日	寄附
			2	彫像「希求」（辻畑隆子）	13,390,000	平成4年4月1日	寄附
		管理箇所計	2点		18,390,000円		
病院局計			2点		18,390,000円		
合計			305点		7,051,331,299円		

（注）1 「品目名称等」は、重要物品台帳等に記載されているものである。
2 県立病院の「取得価格又は評価額(円)」は、消費税等相当額を含まない額である。
3 「備考」には、作者などからの寄附によるものを記載している。